

行刑の実情に関する調査（受刑者アンケート）の結果

平成 15 年 10 月 20 日
行 刑 改 革 会 議

1 対象者

(1) 釈放前受刑者アンケート

平成 15 年 6 月 28 日から同年 7 月 4 日までの間に、全国の刑務所、少年刑務所又は拘置所から、仮釈放又は満期釈放で出所する全受刑者

(2) 施設別受刑者アンケート

山口刑務所（A 級）、千葉刑務所（L A 級）及び徳島刑務所（B、L B 級）に収容されている全受刑者（平成 15 年 7 月 4 日閉房時に在監している者）

2 実施方法

本アンケートが有識者会議である行刑改革会議により行われるものであること、アンケートは無記名で行われ、回答内容が刑務所の職員の目に触れることがないこと等を座長の受刑者あての書面により説明するなど、可能な限り、い縮小的効果が生じないように努め、アンケート調査を実施した。

なお、施設別受刑者アンケートについては、これに加えて、館内放送により調査実施の趣旨を説明したほか、事務局職員が対象施設に赴き、アンケートの配布時及び回収時に立ち会い、手続が適正に行われていることを確認した。

3 実施数等

(1) 回答回収数

釈放前受刑者アンケート 488 通（対象者 521 人中、受領拒否者等 3 人を除く）

施設別受刑者アンケート

山口刑務所 606 通（607 人中、受領拒否者 1 人を除く）

千葉刑務所 667 通（668 人中、受領拒否者 1 人を除く）

徳島刑務所 887 通（893 人中、受領拒否者 6 人を除く）

小計 2160 通

合計 2648 通

(2) 有効回答数

上記 2648 通中、白紙回答が 86 通（釈放前受刑者 7 人、施設別受刑者 79 人）あり、有効回答は 2562 通

（有効回答率 95.3%）

4 回答者の属性等

(1) 分類級別割合

	有効回答数	うち釈放前	うち施設別	平成14年末現在在所受刑者数
全体数	2562 100%	481 100%	2081 100%	56959 100%
A級	703 27.4%	137 28.5%	566 27.2%	12530 22.0%
B級	658 25.7%	251 52.2%	407 19.6%	27395 48.1%
L A級	634 24.7%	1 0.2%	633 30.4%	1791 3.1%
L B級	461 18.0%	3 0.6%	458 22.0%	1942 3.4%
その他	106 4.1%	89 18.5%	17 0.8%	13301 23.4%

(2) 罪名別割合

	有効回答数	うち釈放前	うち施設別	平成14年末現在在所受刑者数
全体数	2562 100%	481 100%	2081 100%	56959 100%
殺人	533 20.8%	8 1.7%	525 25.2%	3859 6.8%
窃盗	413 16.1%	143 29.7%	270 13.0%	14772 25.9%
強盗致 死傷	429 16.7%	7 1.5%	422 20.3%	2901 5.1%
覚せい剤取 締法違反	443 17.3%	148 30.8%	295 14.2%	14992 26.3%

(3) 年齢（問1）

10歳代	0.1%
20歳代	9.1%
30歳代	27.8%
40歳代	21.9%
50歳代	24.9%
60歳代以上	13.3%
無回答	2.9%

(4) 結婚の有無（問3）

独身	65.6%
----	-------

内縁者がいる	15.9%
結婚している	17.4%
無回答	1.1%

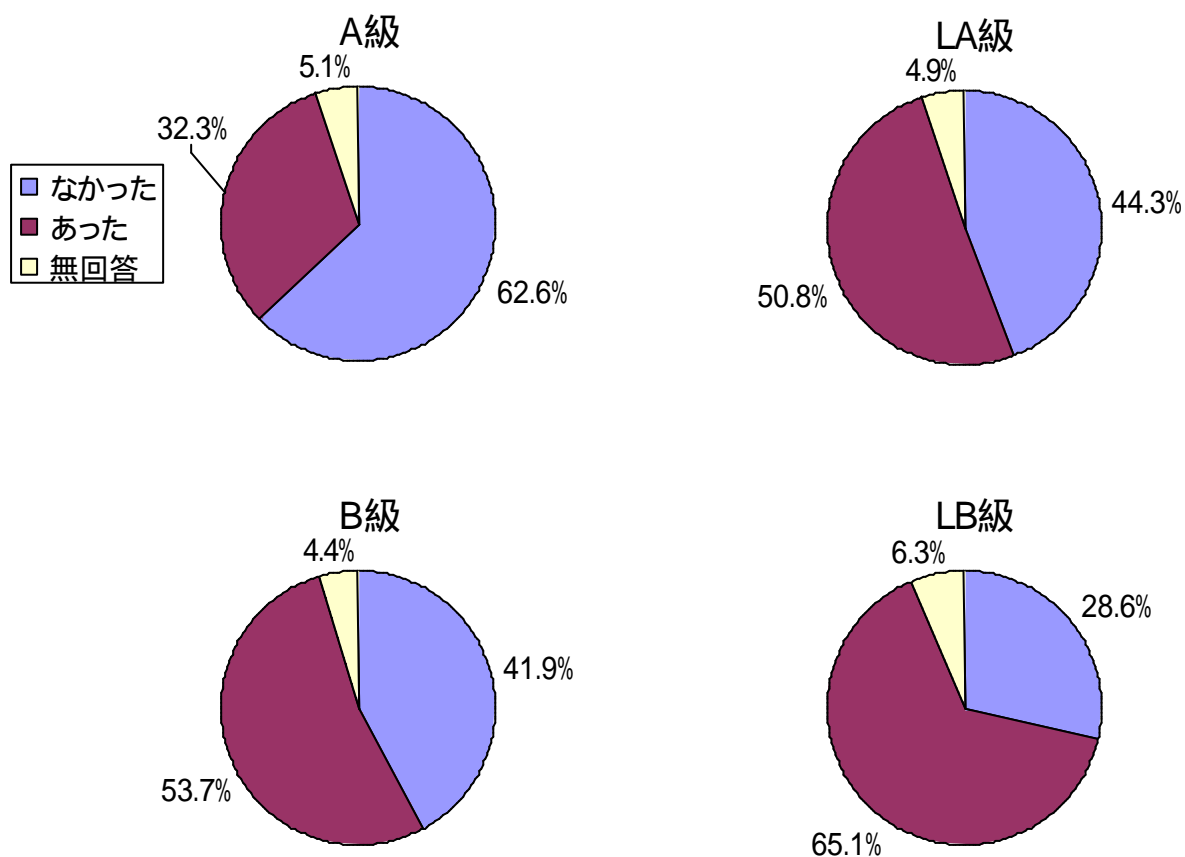
(5) 暴力団関係 (問4)

なかった	57.2%
交際あり	21.7%
組員	7.9%
幹部	8.1%
無回答	5.1%

5 アンケート結果

問5 - A - 1 衣類について改めるべき点の有無

なかった	46.7%
あった	48.3%



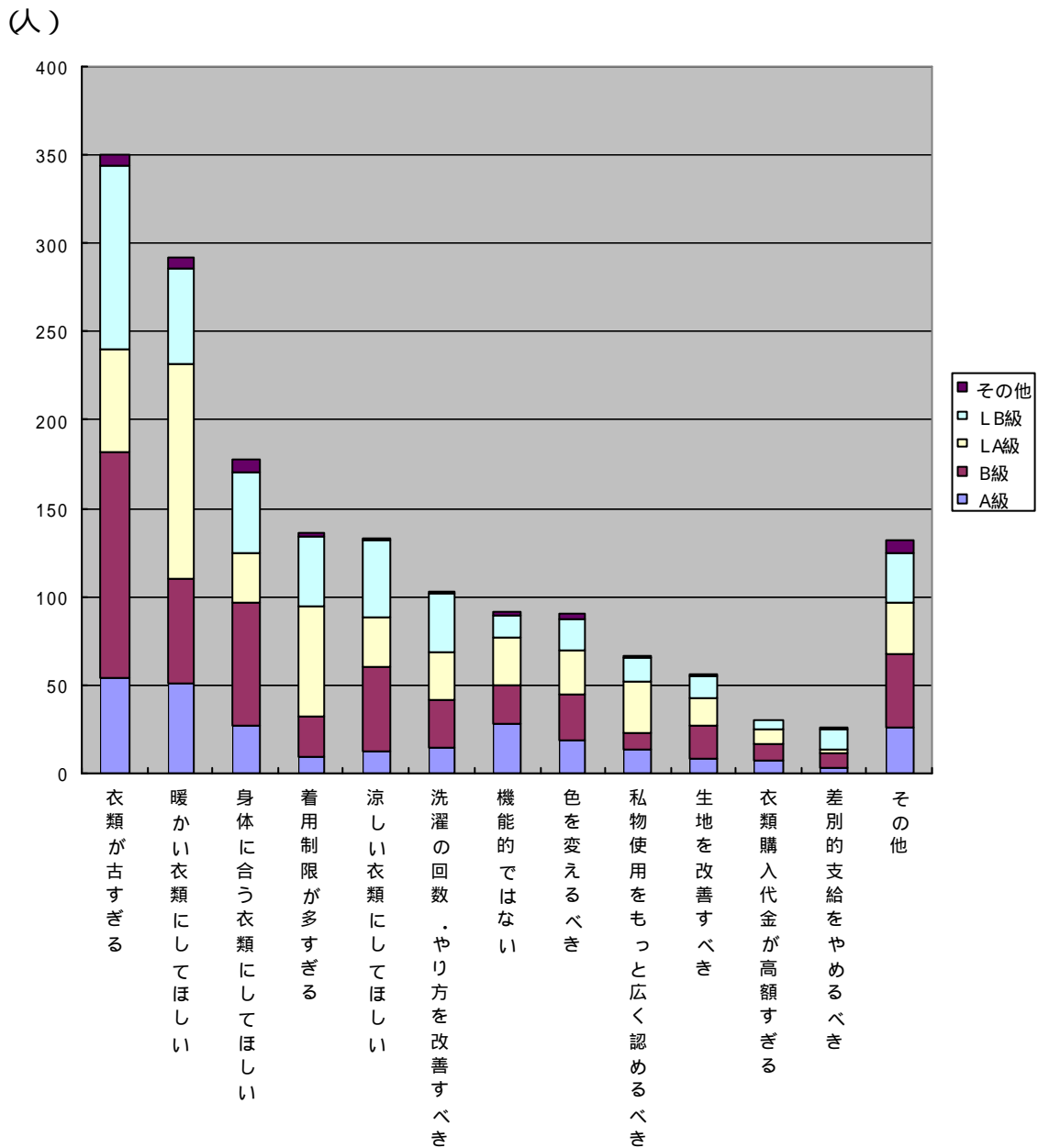
問5 - A - 2 衣類について改めるべき点（自由回答・回答数1238）

衣類が古すぎる 350人（13.7%）

暖かい衣類にしてほしい 292人（11.4%）

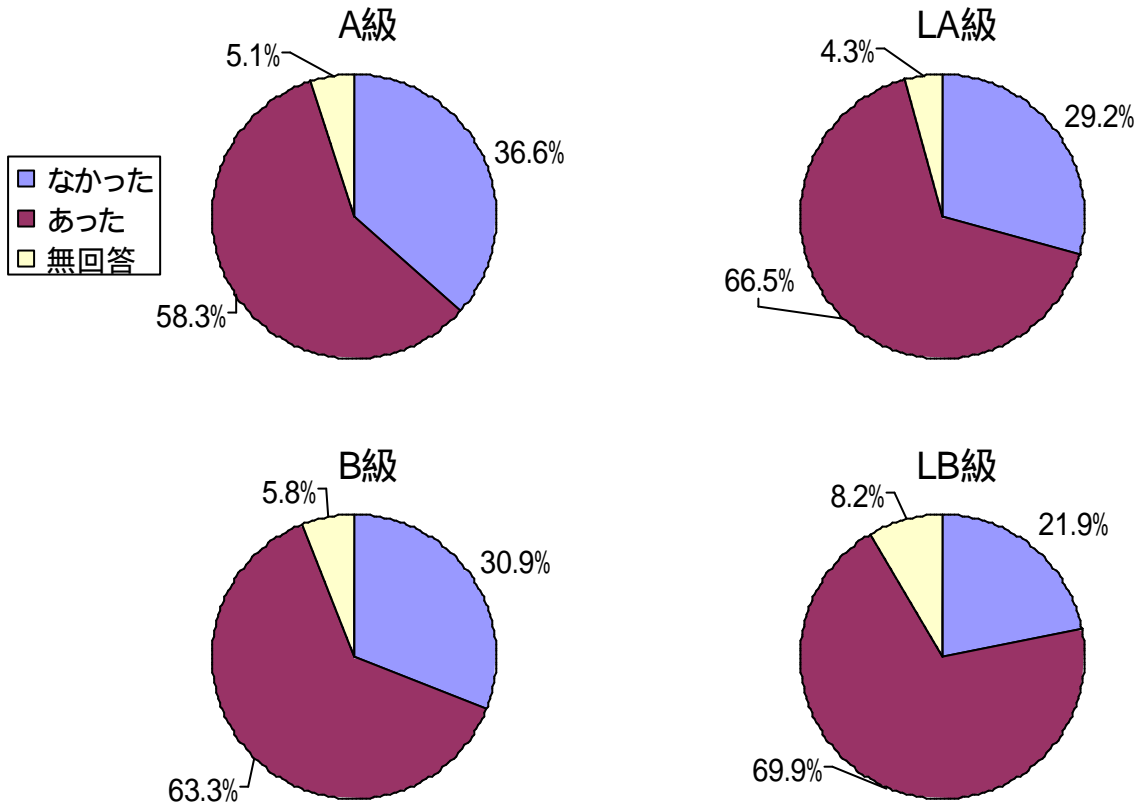
身体に合う衣類にしてほしい 177人（6.9%）

（有効回答中に占める割合）



問5 - B - 1 食事について改めるべき点の有無

なかった 31.1%
あった 63.3%



問5 - B - 2 食事について改めるべき点（自由回答・回答数1594）

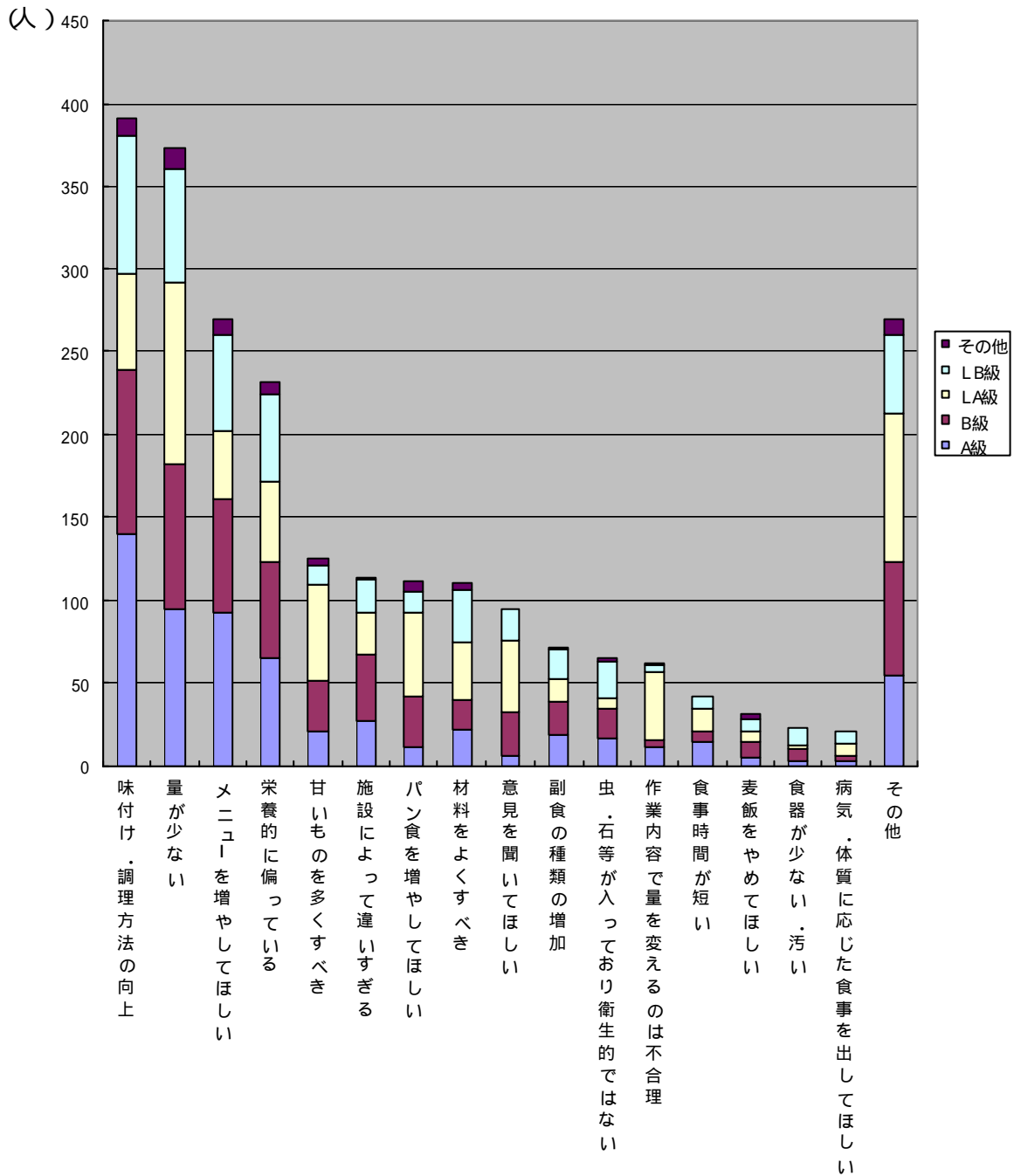
味付け・調理方法の向上 391人（15.3%）

量が少ない 373人（14.6%）

メニューを増やしてほしい 269人（10.5%）

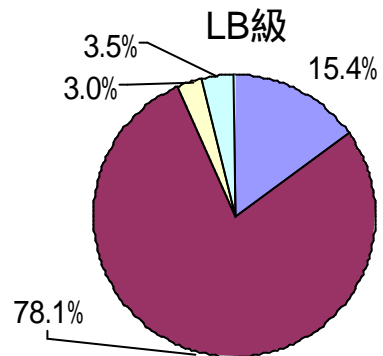
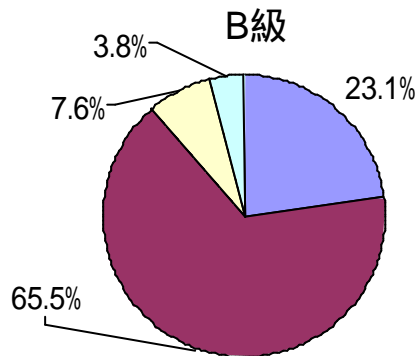
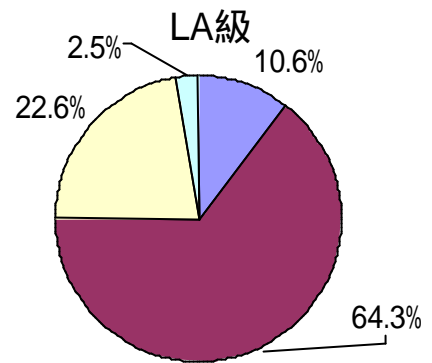
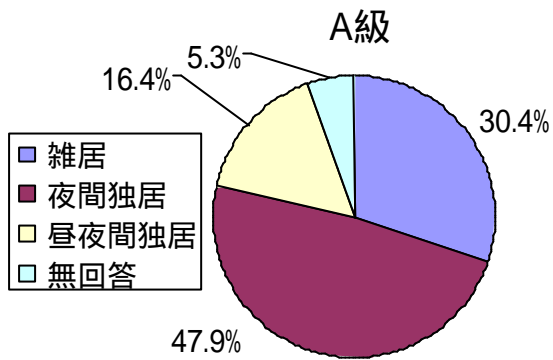
栄養的に偏っている 231人（9.0%）

（有効回答中に占める割合）



問5 - C - 1 独居・雑居のどちらの生活が良いか

夜間独居	1 5 9 0 人 (6 2 . 1 %)
雑居	5 4 2 人 (2 1 . 2 %)
昼夜間独居	3 3 5 人 (1 3 . 1 %)
	(有効回答中に占める割合)

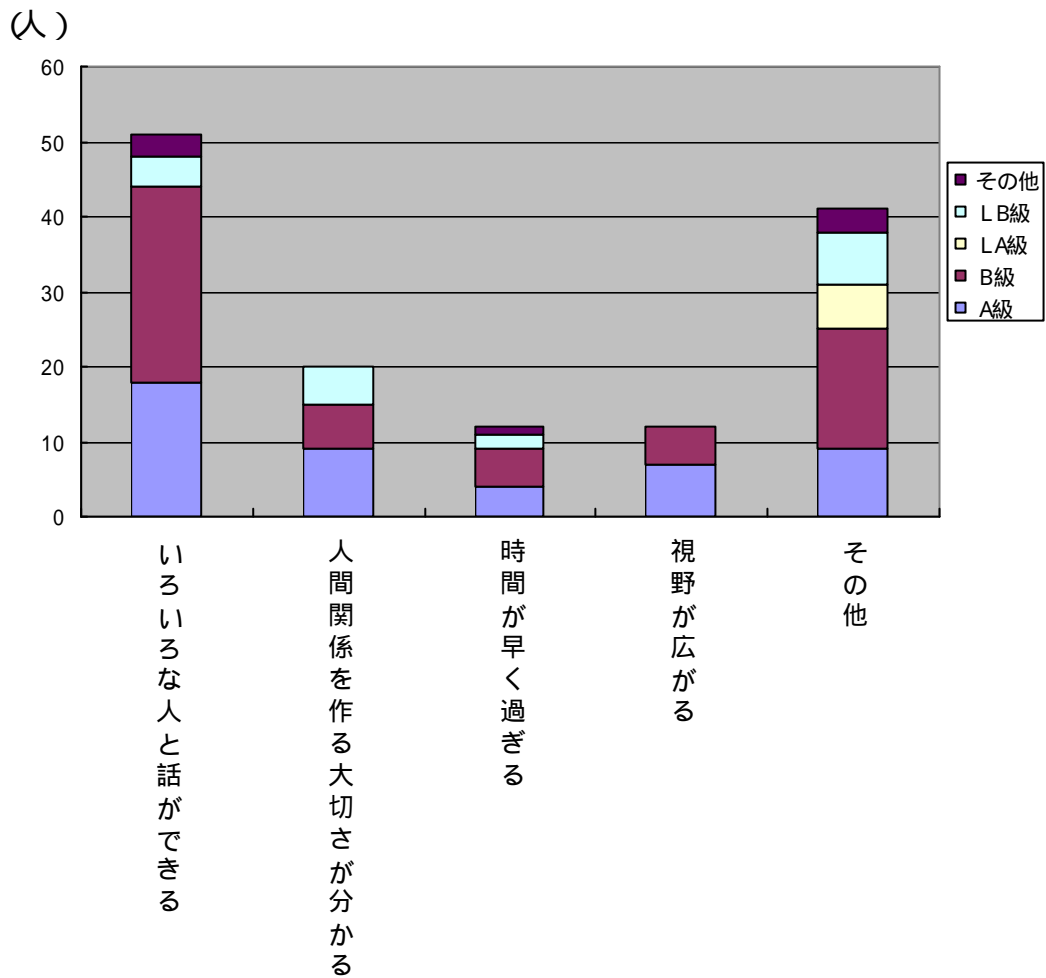


問5 - C - 2 その理由（自由回答・回答数2059）

雑居が良い理由

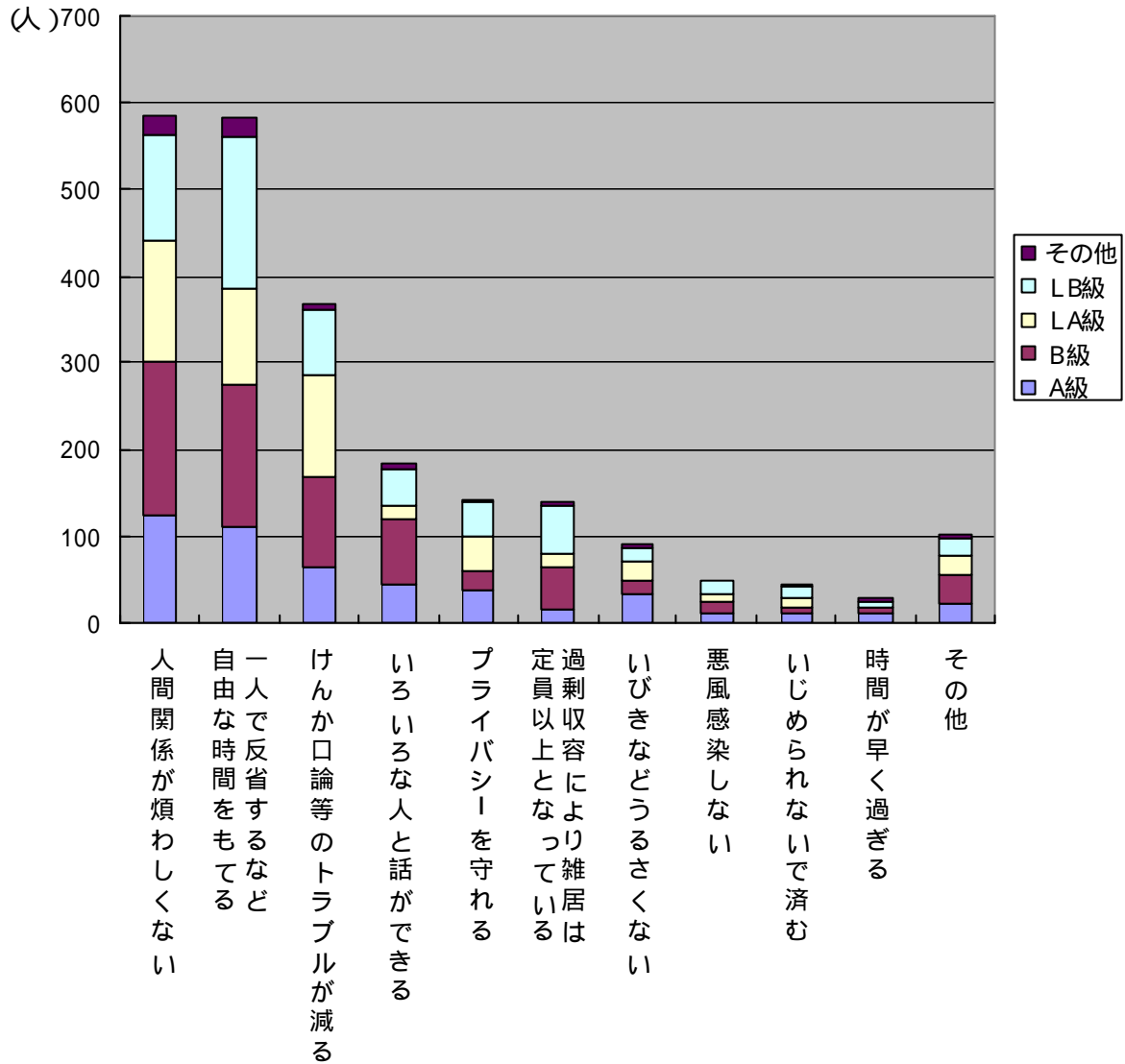
いろいろな人と話ができる 51人

人間関係を作る大切さが分かる 20人



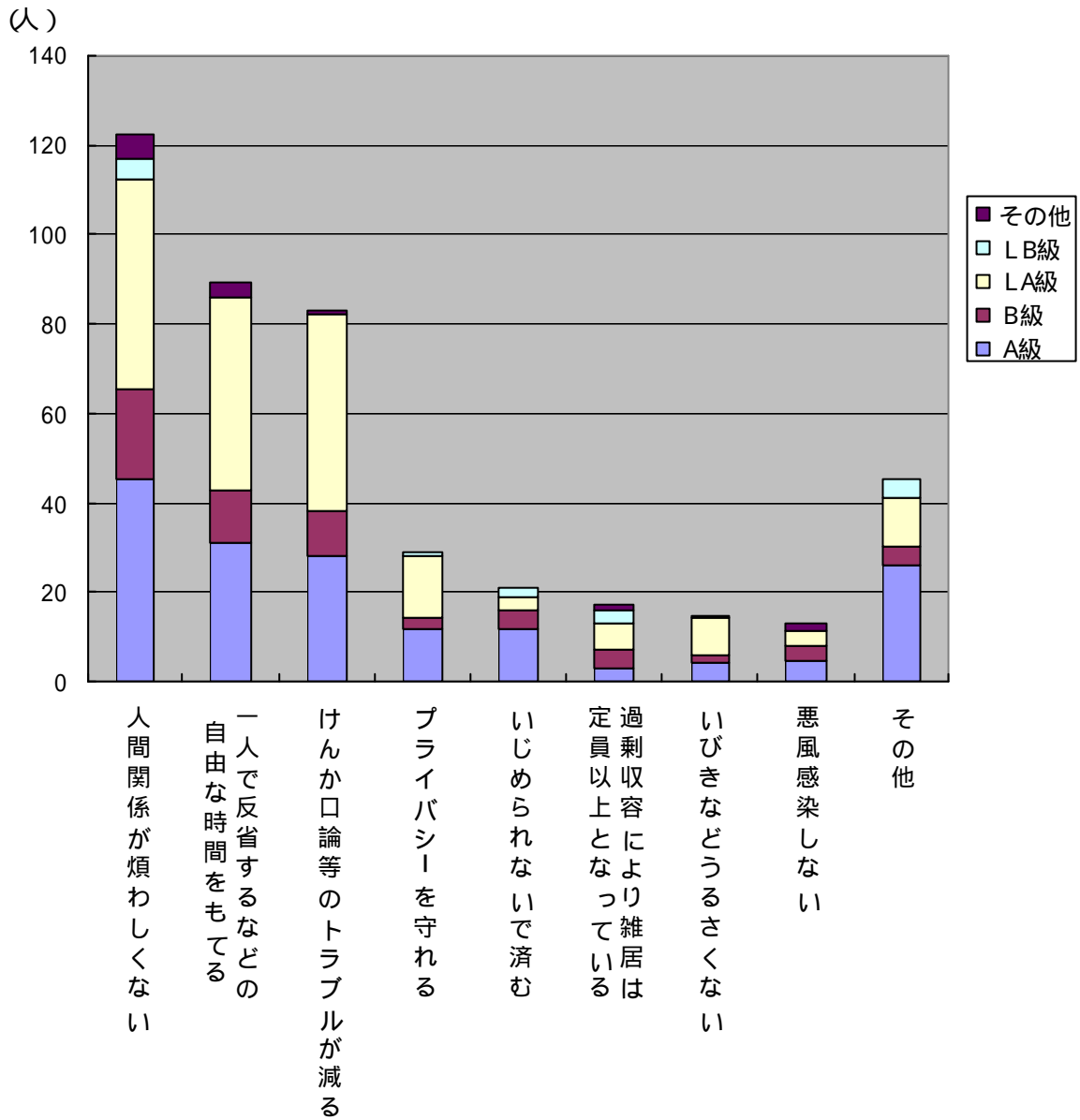
夜間独居が良い理由

人間関係が煩わしくない	584人
一人で反省するなど自由な時間をもてる	582人
けんか口論等のトラブルが減る	368人



昼夜間独居が良い理由

人間関係が煩わしくない	122人
一人で反省するなどの自由な時間をもてる	89人
けんか口論等のトラブルが減る	83人



問5 - D その他，刑務所内の衣食住について改めるべき点

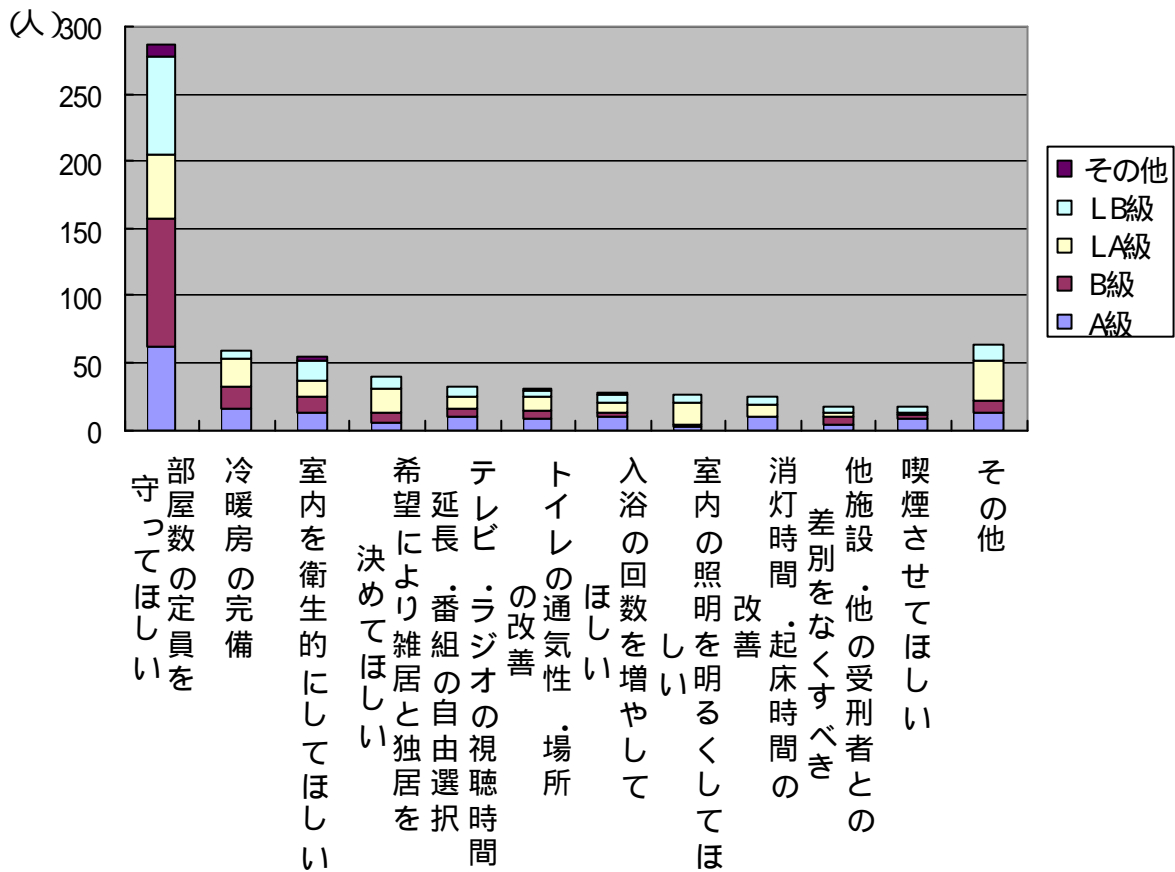
(自由回答・回答数1391)

衣に関するもの	368人(14.4%)
食に関するもの	624人(24.4%)
住に関するもの	603人(23.5%)

【以下は，問5 - A ~ Cの回答中にある改める点以外について集計】

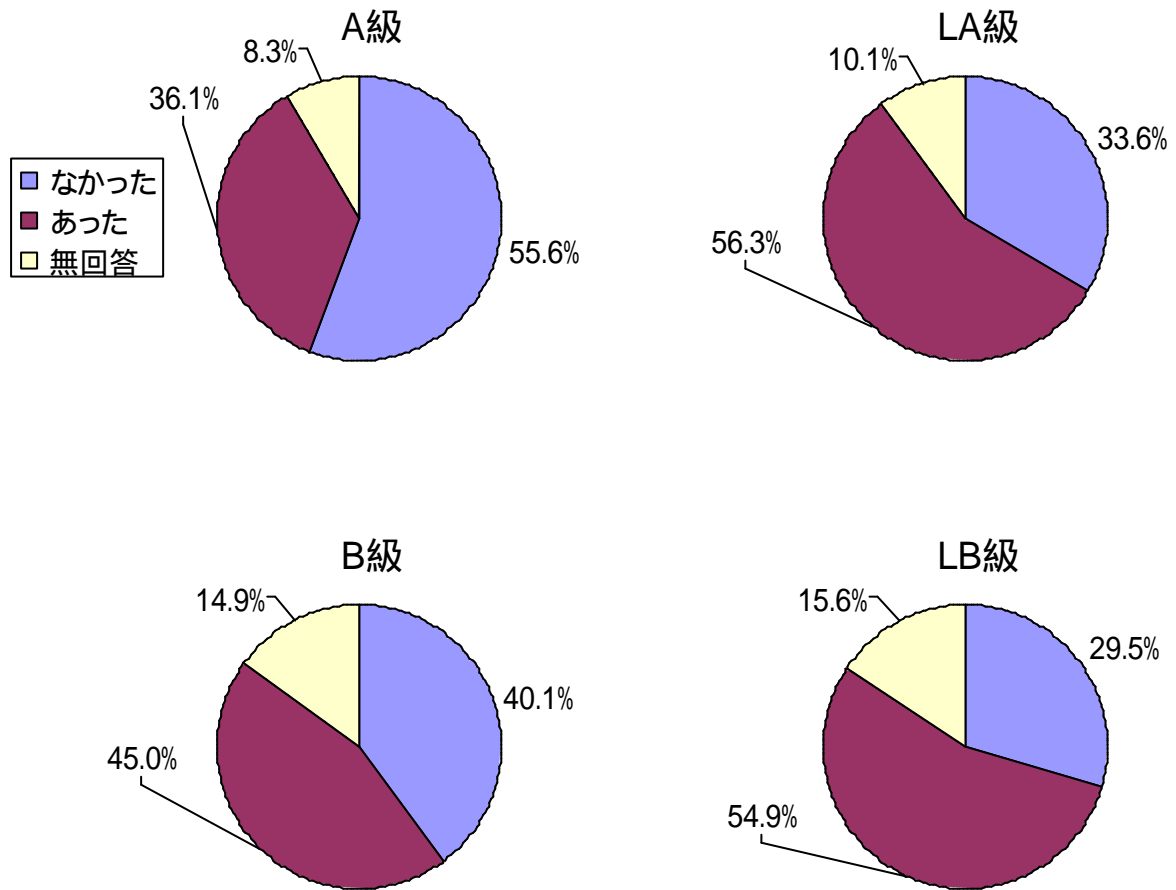
部屋の定員を守ってほしい	287人(11.2%)
冷暖房の完備	60人(2.3%)
室内を衛生的にしてほしい	54人(2.1%)

(有効回答中に占める割合)



問 6 部屋での所持品の範囲について改めるべき点の有無

なかった 41.7%
 あった 46.4%



問6 - A 部屋での所持品の範囲について改めるべき点

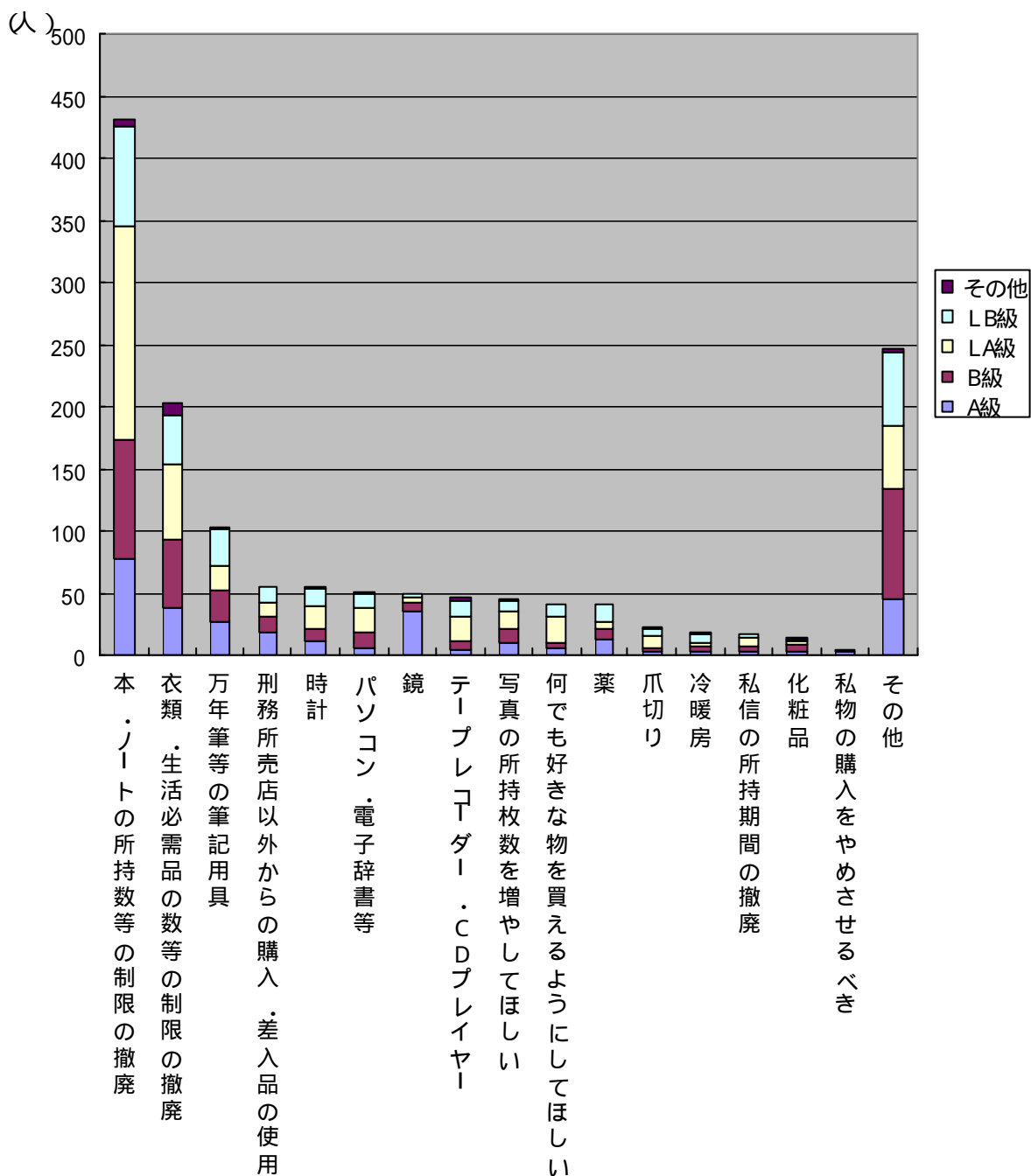
(自由回答・回答数1170)

本，ノートの所持数等の制限の撤廃 432人(16.9%)

衣類，生活必需品の数等の制限の撤廃 203人(7.9%)

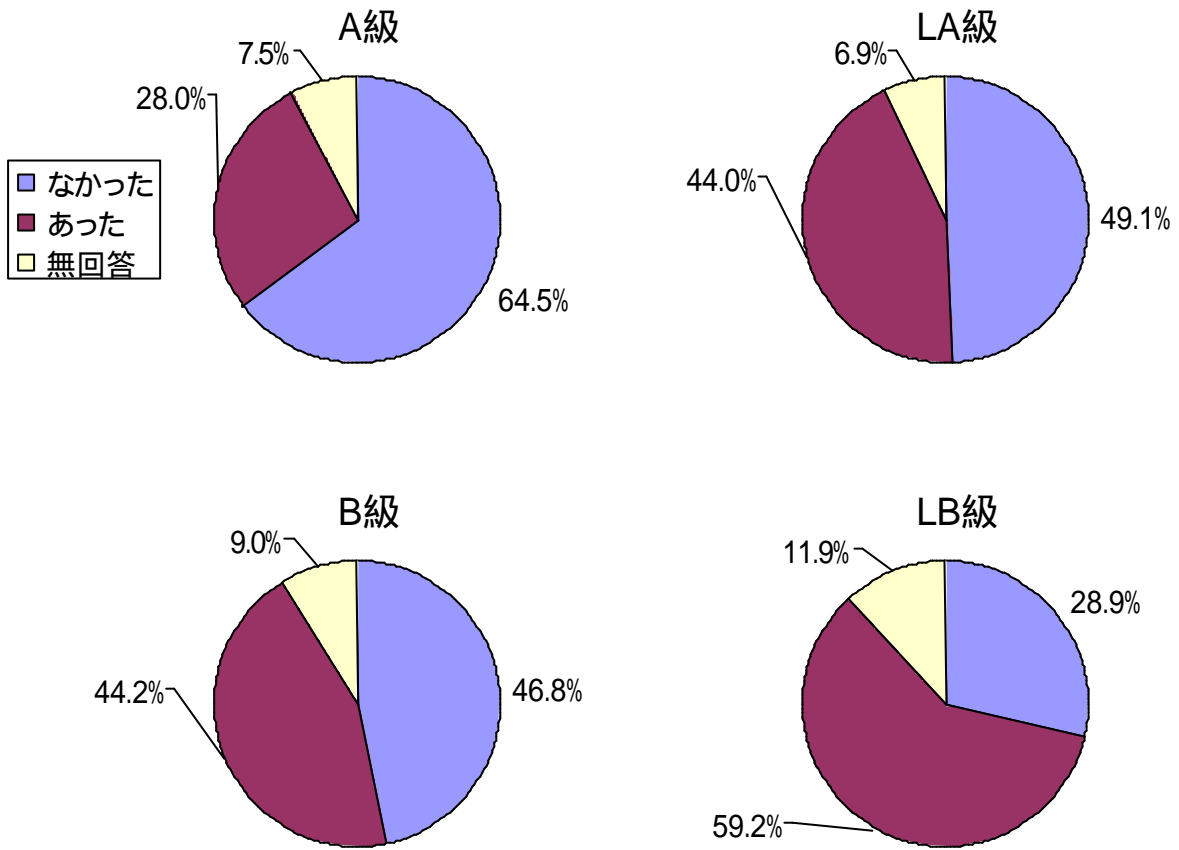
万年筆等の筆記用具 102人(4.0%)

(有効回答中に占める割合)



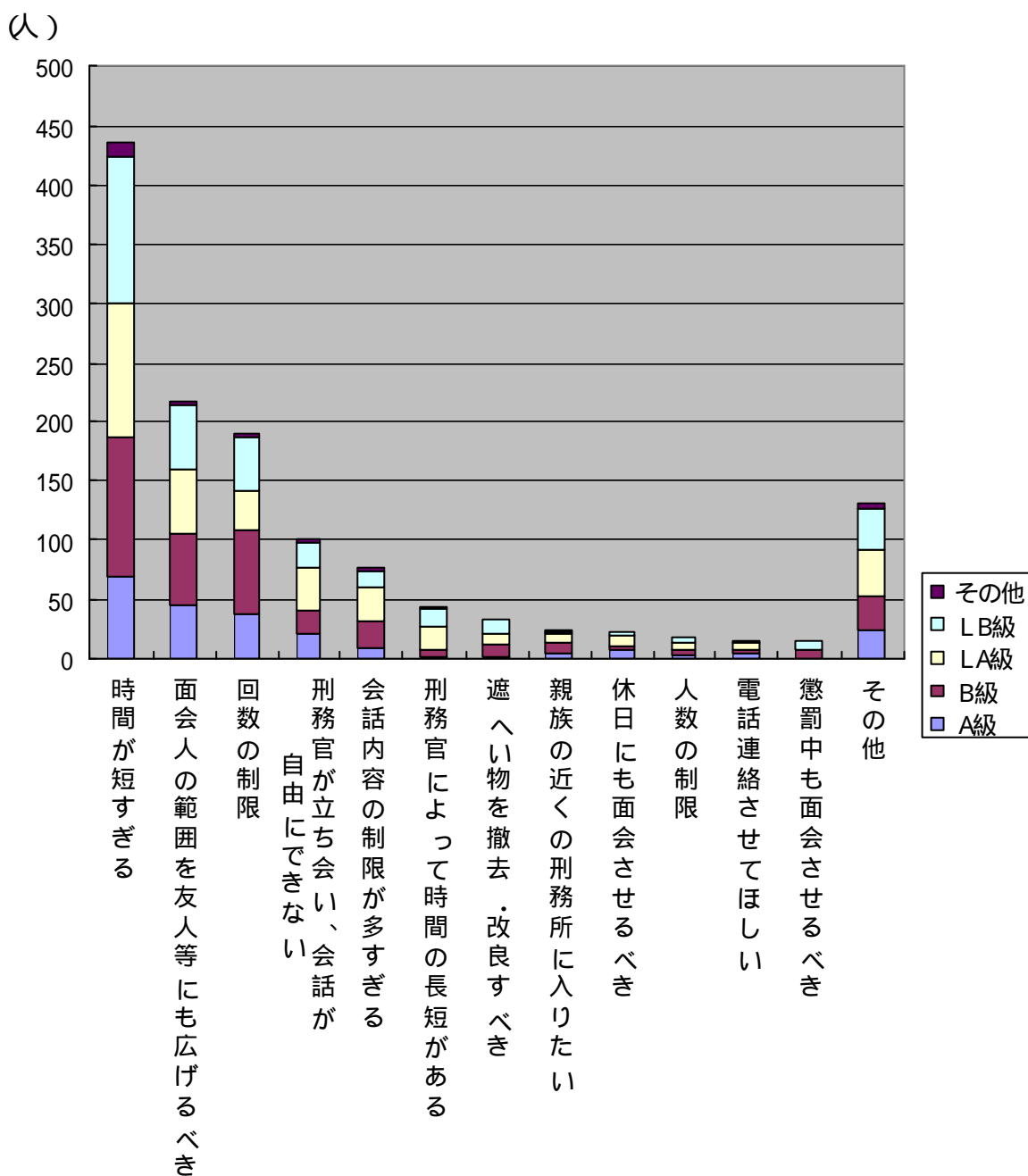
問7 - A - 1 外部との面会について困ったことの有無

なかった 50.0%
あった 41.6%



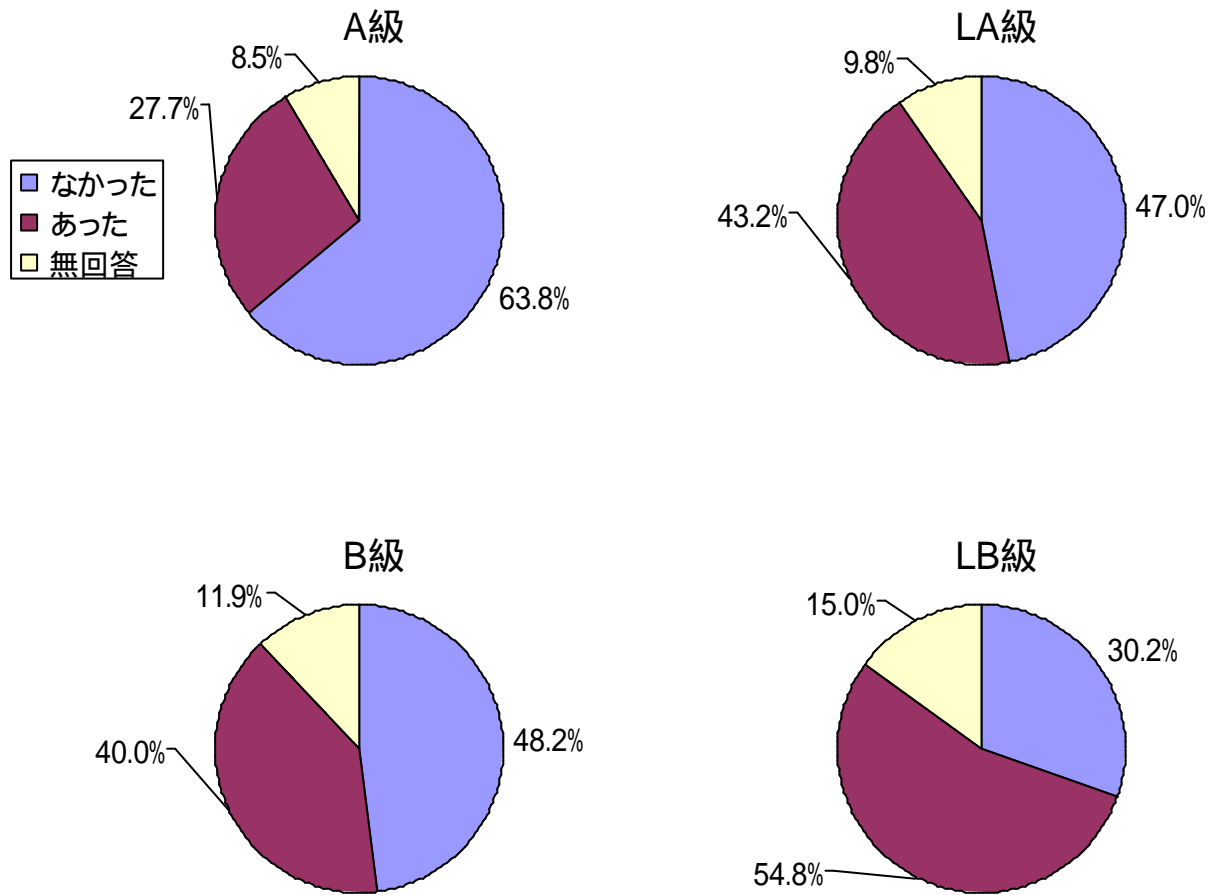
問7 - A - 2 外部との面会で困ったこと（自由回答・回答数1060）

時間が短すぎる	435人（17.0%）
面会人の範囲を友人等に応げるべき	217人（8.5%）
回数制限すべきでない	190人（7.4%）
（有効回答中に占める割合）	



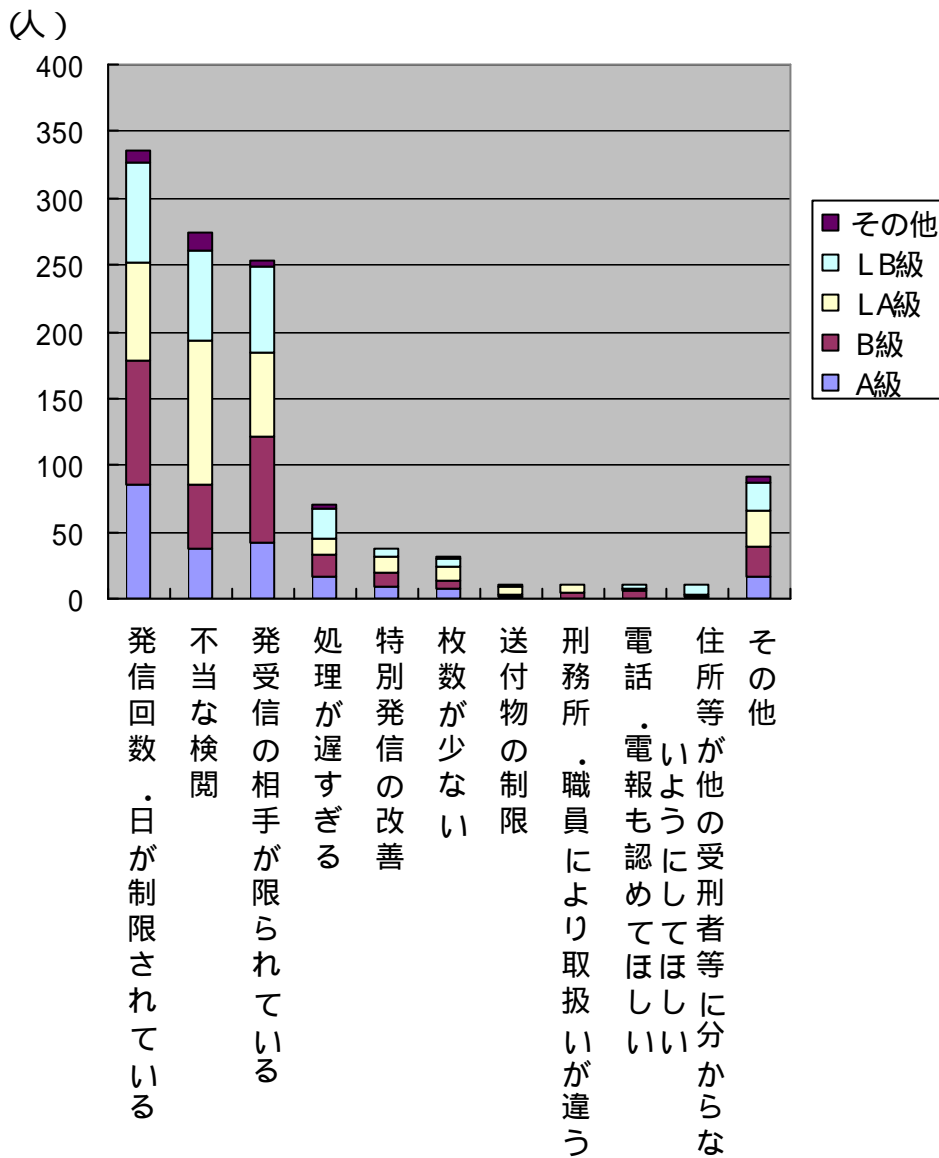
問7 - B - 1 外部との信書の発受について困ったことの有無

なかった 49.3%
あった 39.7%



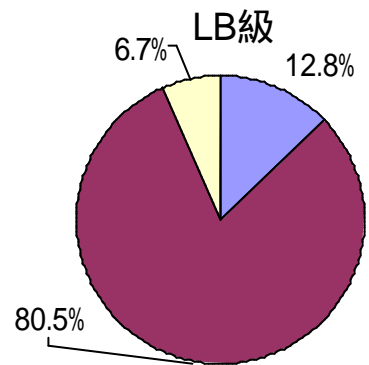
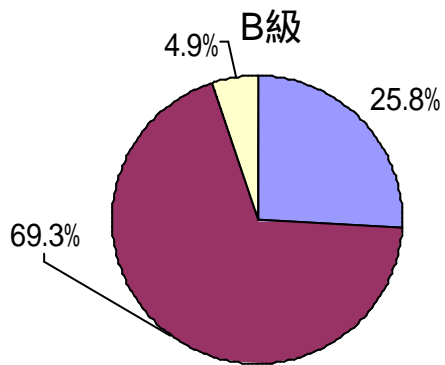
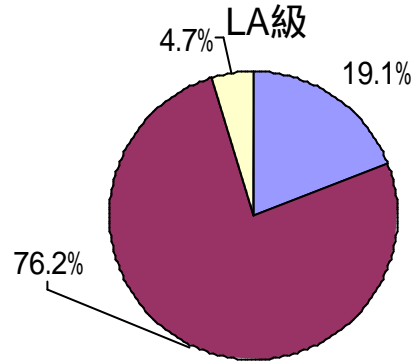
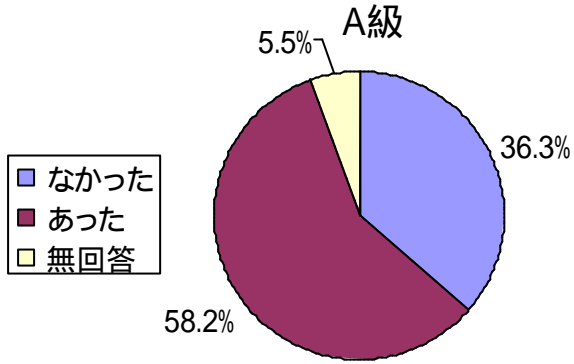
問7 - B - 2 外部との信書の発受で困ったこと（自由回答・回答数994）

発信回数，日が制限されている	335人（13.1%）
不当な検閲	274人（10.7%）
発受信の相手が限られている	253人（9.9%）
（有効回答中に占める割合）	



問 8 刑務所内の医療について困ったことの有無

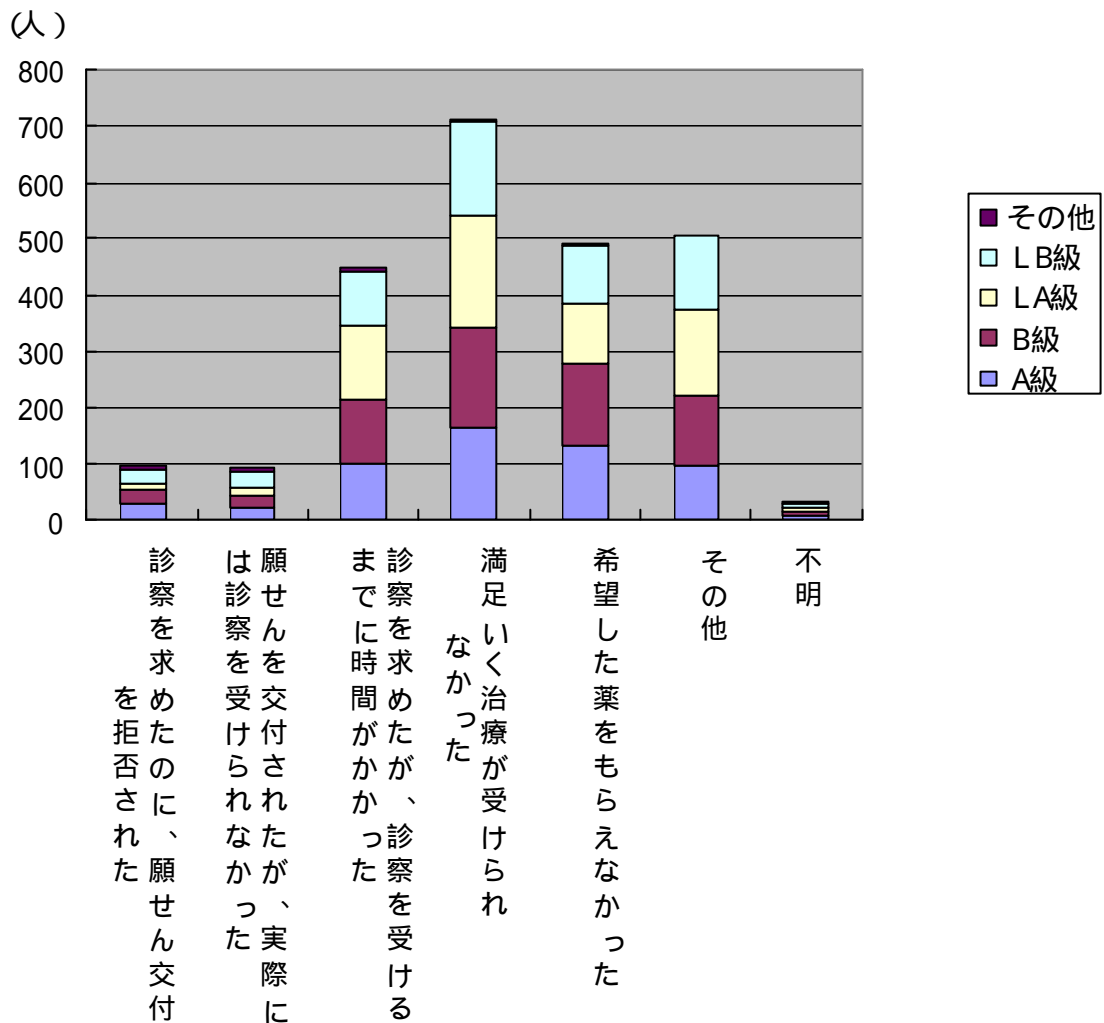
なかった	25.1%
あった	69.6%



問 8 - A 刑務所内の医療について困ったこと（1つを選択）

（本項における比率は、有効回答中に占める割合）

満足いく治療が受けられなかった	731人（28.5%）
希望した薬をもらえなかった	509人（19.9%）
診察を受けるまでに時間がかかった	463人（18.1%）



「その他」の主な内容

・ 診療がいい加減	104人（4.1%）
・ 診療してもらえなかった	95人（3.7%）
・ 症状を十分説明させてくれない	48人（1.9%）
・ 選択肢と重複	70人（2.7%）

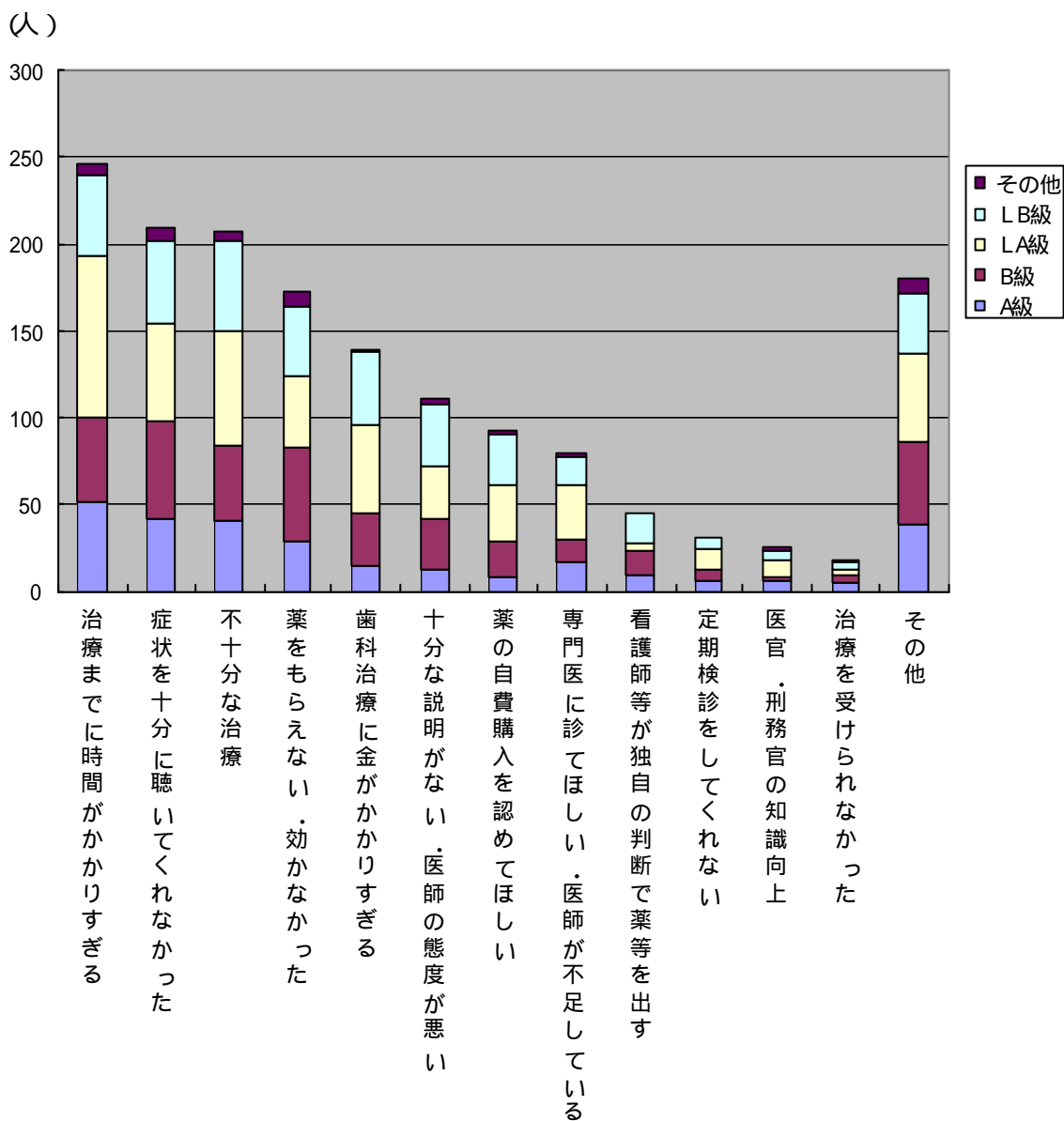
問 8 - B その他医療について改めるべき点 (自由回答・回答数 1 2 3 8)

治療までに時間がかかりすぎる 2 4 6 人 (9 . 6 %)

症状を十分に聴いてくれない 2 0 9 人 (8 . 2 %)

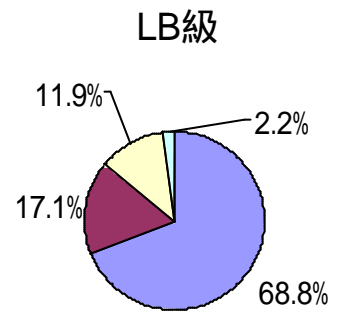
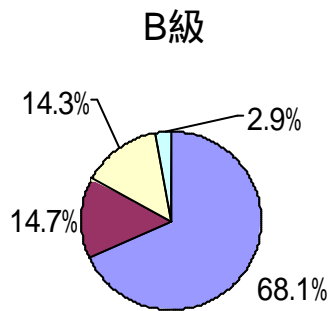
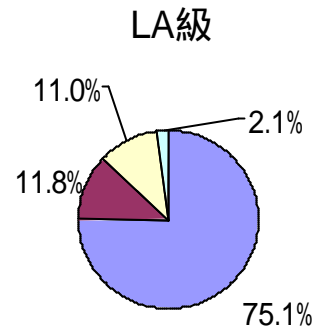
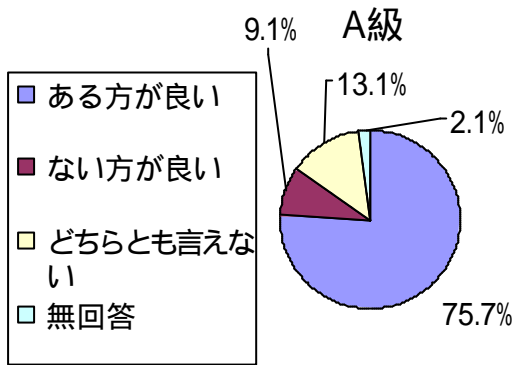
不十分な治療 2 0 7 人 (8 . 1 %)

(有効回答中に占める割合)



問9 - A - 1 刑務作業がある方が良いか

ある方が良い 72.6%
 ない方が良い 12.5%

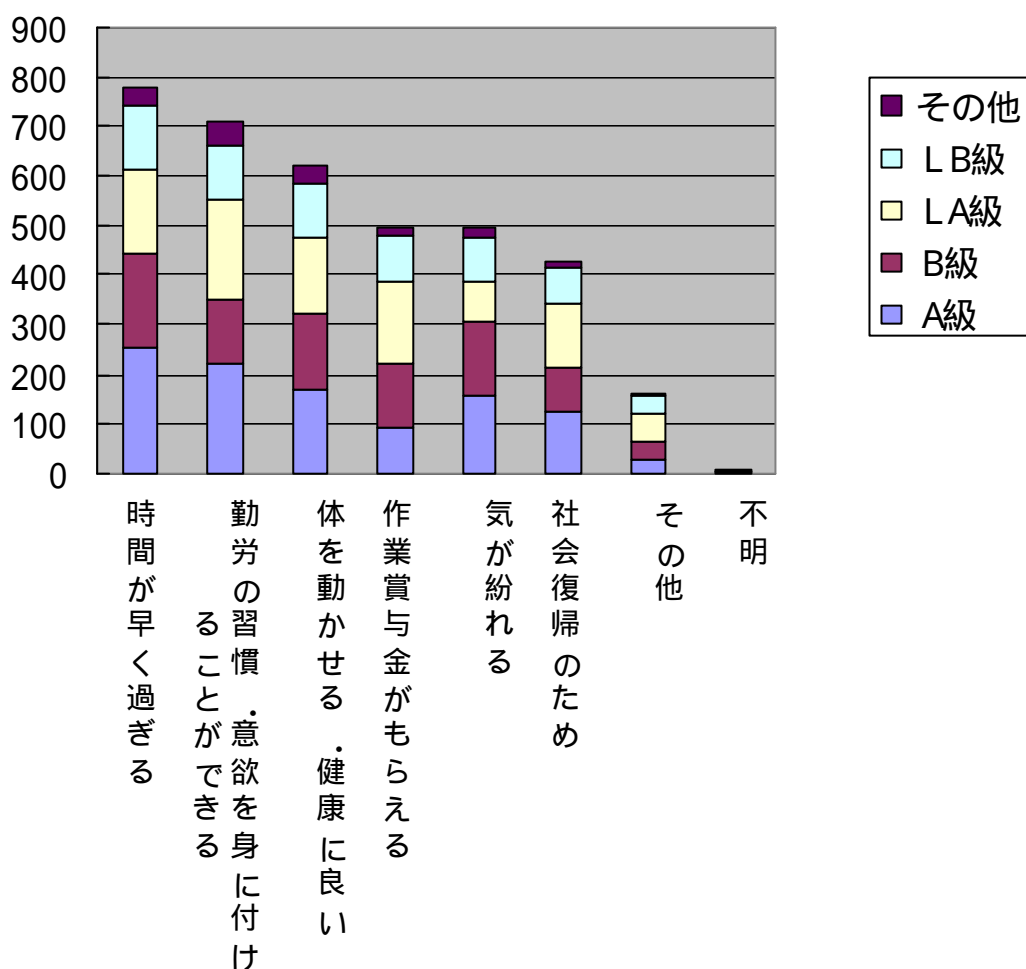


問9 - A - 2 刑務作業がある方が良い理由（2つまで選択）

（本項における比率は，ある方が良いと答えた者1861人に占める割合）

時間が早く過ぎる	779人（41.9%）
勤労の習慣・意欲が身に付く	711人（38.2%）
体を動かせる，健康に良い	621人（33.4%）

（人）

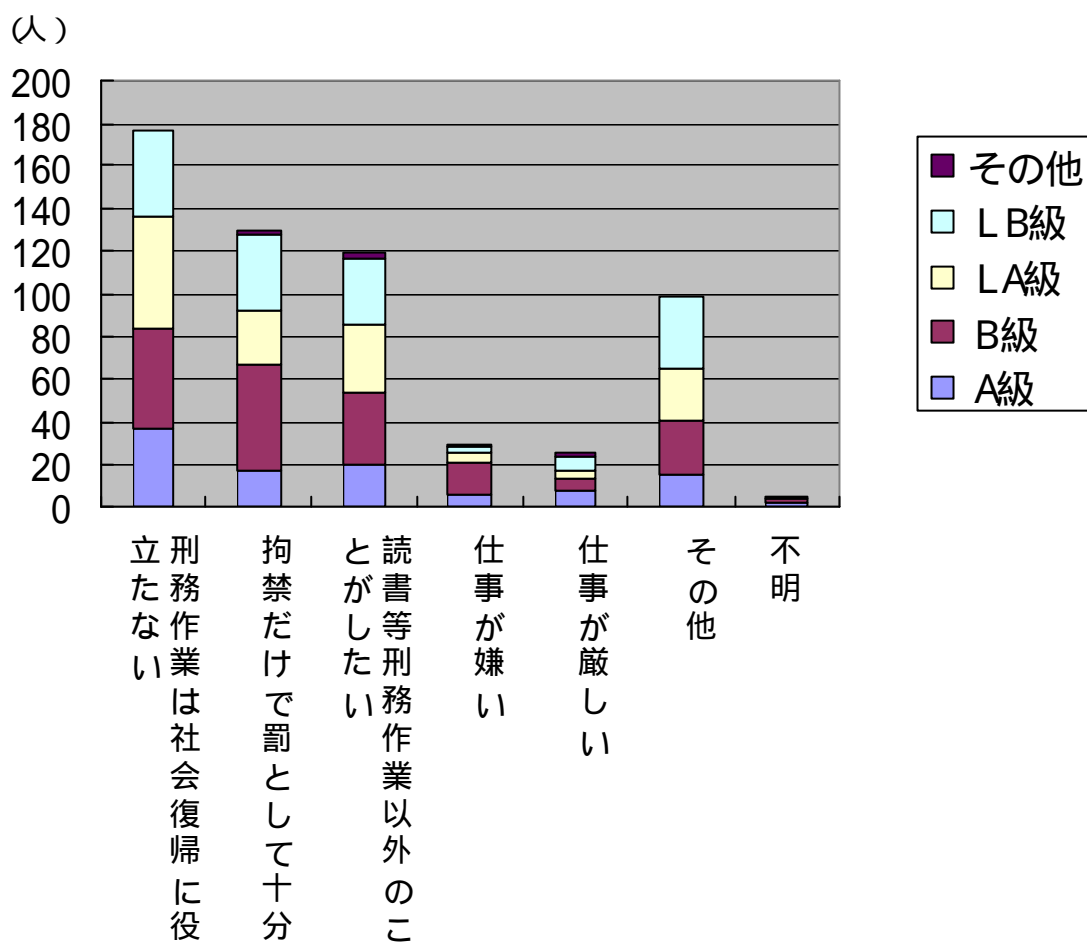


「その他」の主な内容

- ・ 贖罪 21人（1.1%）
- ・ 人間として，働くのが当然 14人（0.8%）
- ・ 選択肢と重複 49人（2.6%）

問9 - A - 3 刑務作業がない方が良い理由（2つまで選択）

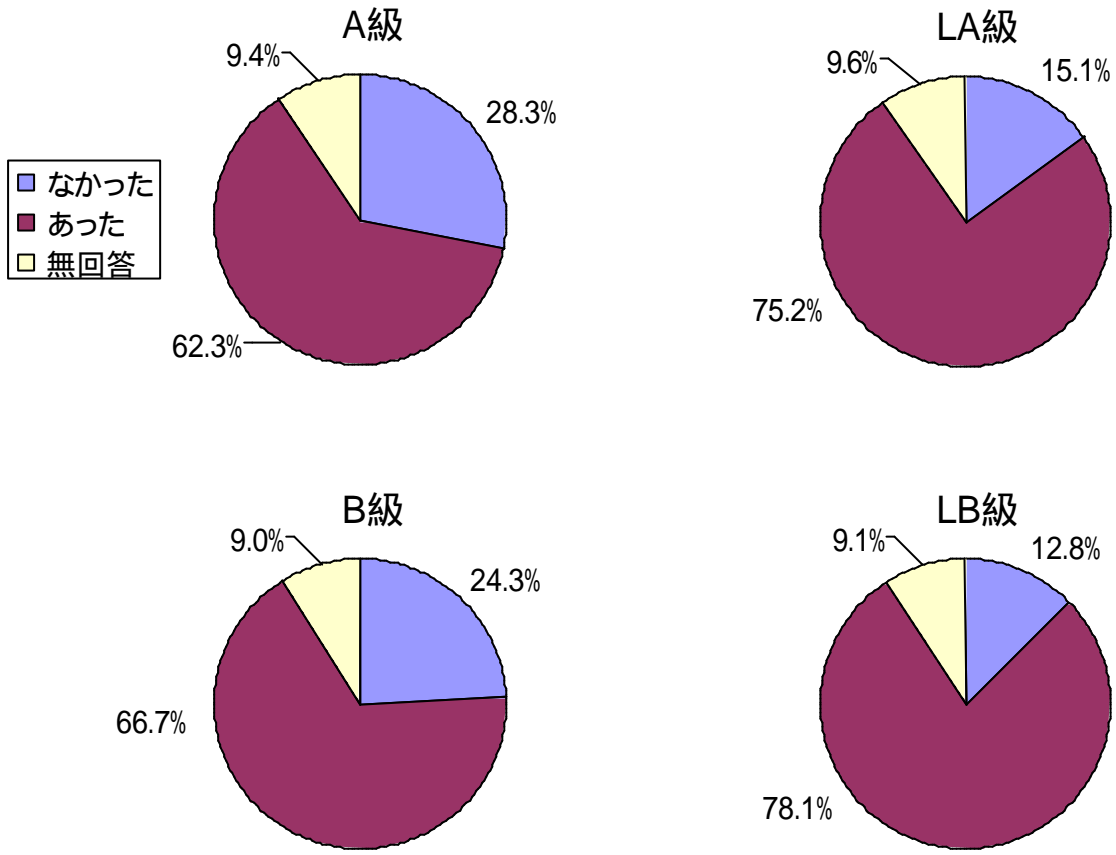
（本項における比率は、ない方が良いと答えた者320人に占める割合）
 刑務作業は社会復帰に役立たない 177人（55.3%）
 拘禁だけで罰として十分 130人（40.6%）
 読書等刑務作業以外のことをしたい 119人（37.2%）



- 「その他」の主な内容
- ・ 作業を選択制とすべき 20人（6.3%）
 - ・ 作業賞と金が安すぎる 10人（3.1%）
 - ・ 規則が厳しすぎる 9人（2.8%）
 - ・ 選択肢と重複 54人（16.9%）

問9 - B - 1 刑務作業について、改めるべき点の有無

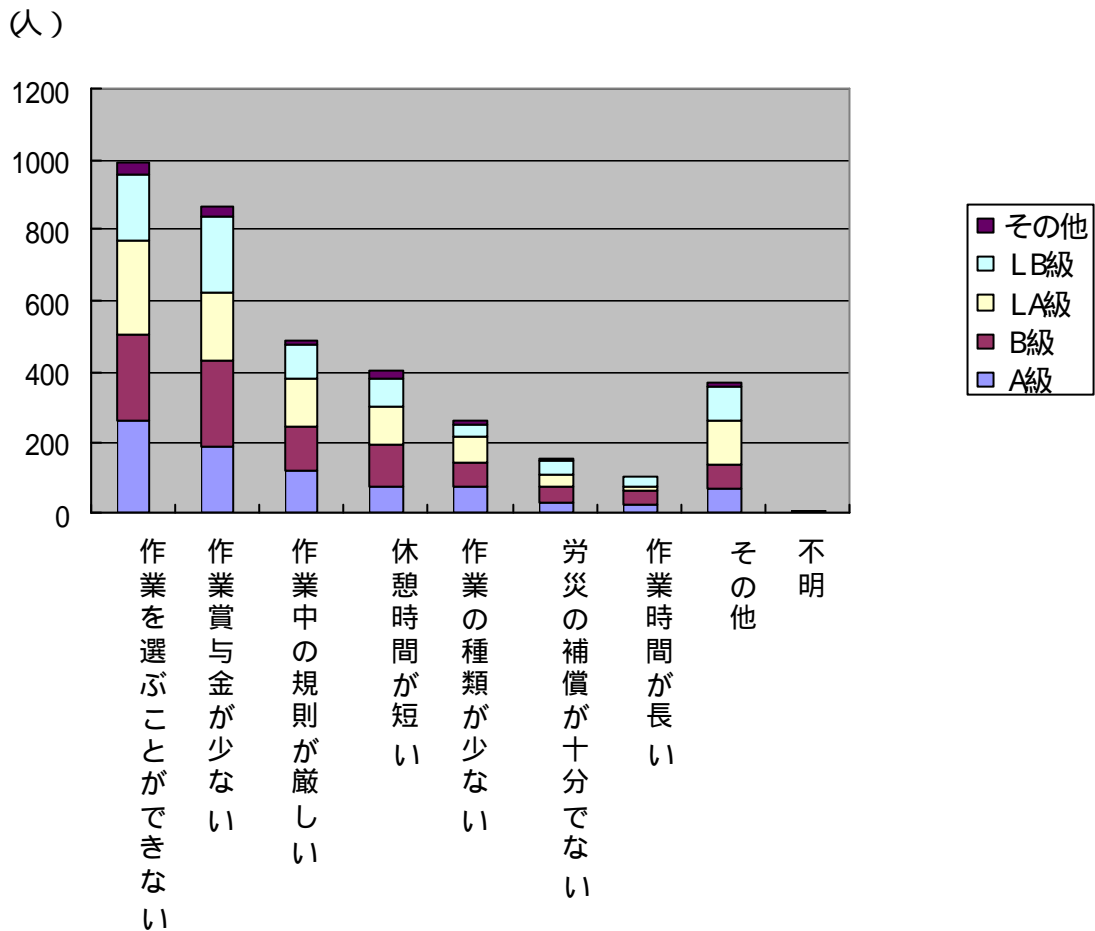
なかった 21.3%
 あった 69.4%



問9 - B - 2 刑務作業について改めるべき点（2つまで選択）

（本項における比率は，有効回答中に占める割合）

作業を選ぶことができない	987人（38.5%）
作業賞与金が少ない	865人（33.8%）
作業中の規則が厳しい	486人（19.0%）

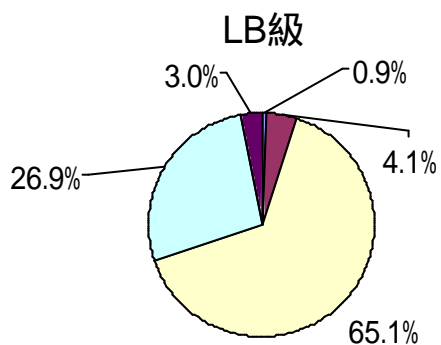
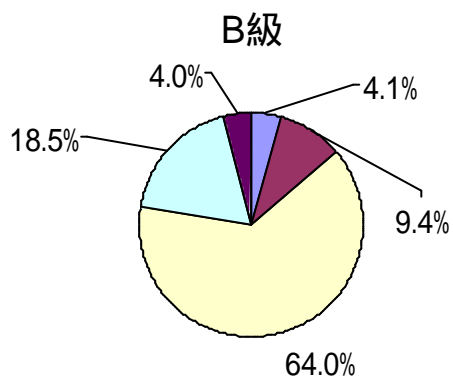
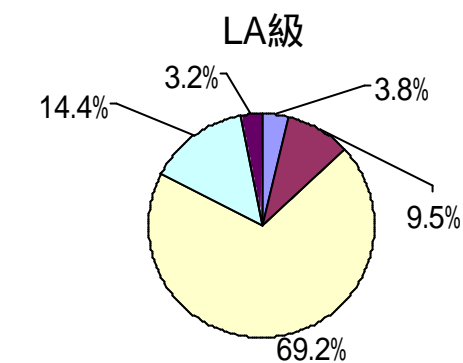
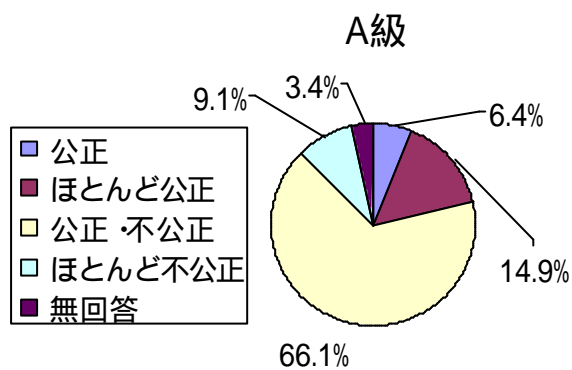


「その他」の主な内容

- ・ 社会復帰に役立つ内容にすべき 75人（2.9%）
- ・ 担当により差別等がある 31人（1.2%）
- ・ 作業能率，安全性が低い 24人（0.9%）
- ・ 選択肢と重複 196人（7.7%）

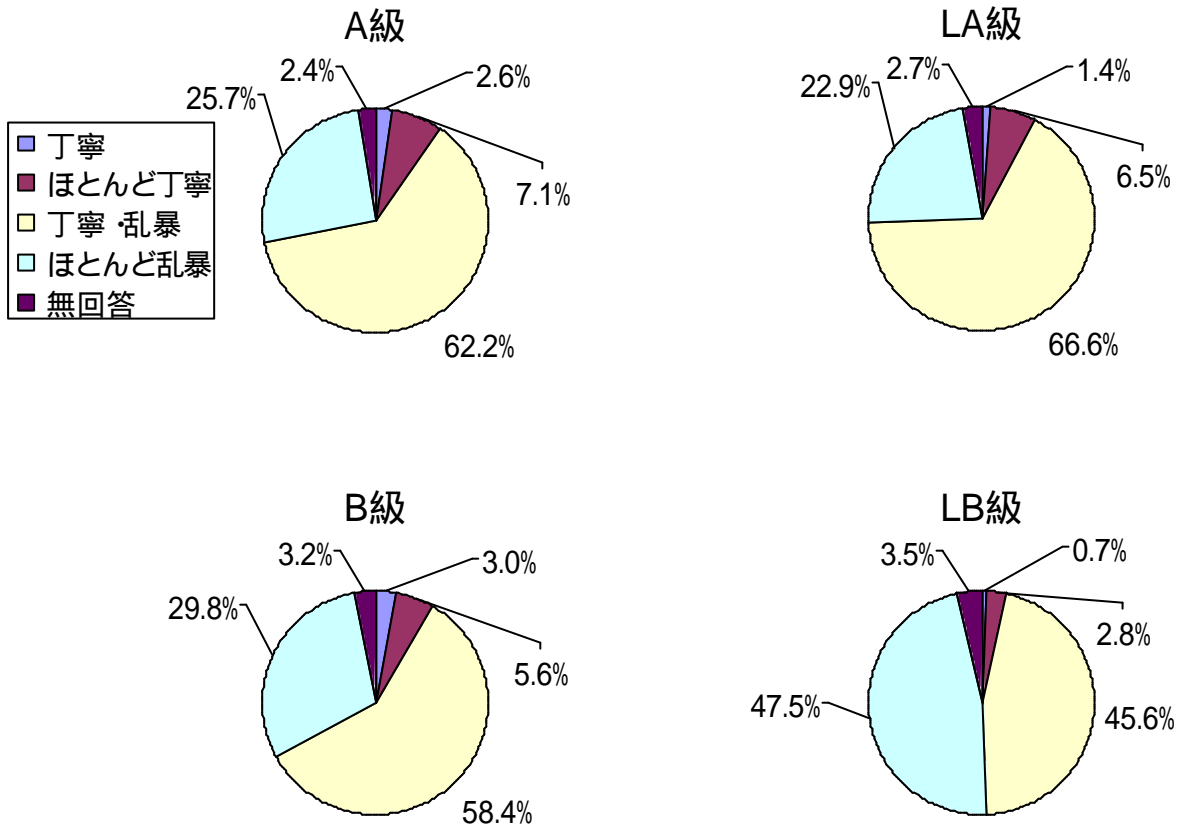
問 1 0 - A 職員は公正か

職員は公正である	4 . 4 %
ほとんどの職員は公正である	1 0 . 2 %
公正な職員もいるが不公正な職員もいる	6 5 . 8 %
ほとんどの職員は不公正である	1 6 . 0 %



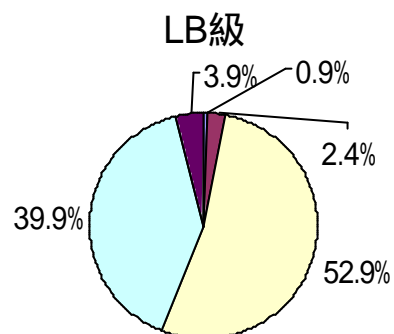
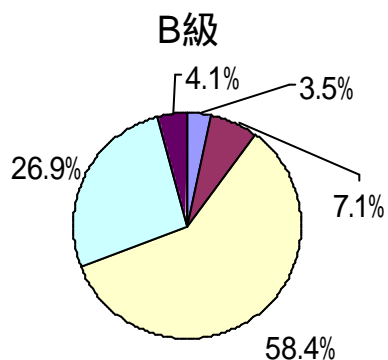
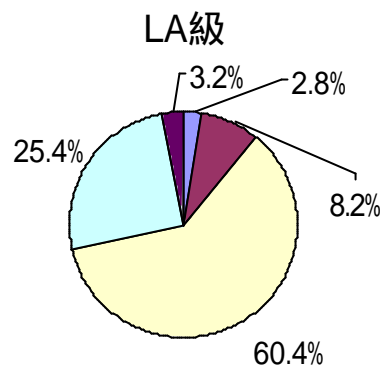
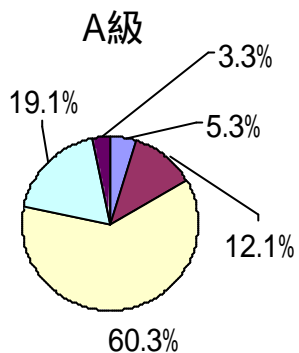
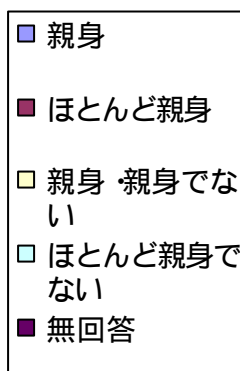
問10 - B 職員の態度や言葉は丁寧か

職員は丁寧である	2.1%
ほとんどの職員は丁寧である	5.8%
丁寧な職員もいるが乱暴な職員もいる	59.5%
ほとんどの職員は乱暴である	29.6%



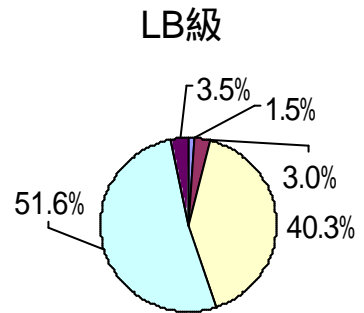
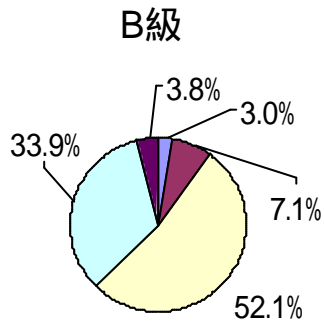
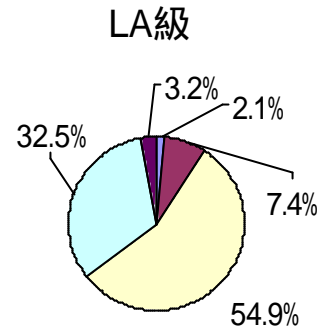
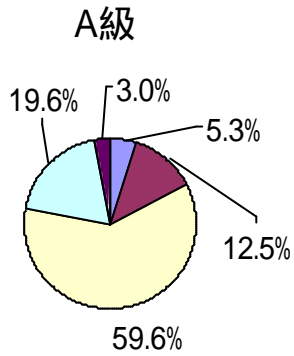
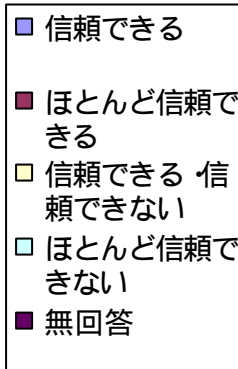
問10 - C 職員は親身に話を聞いてくれるか

親身に話を聞いてくれる	3.7%
ほとんどの職員は親身に話を聞いてくれる	8.1%
親身な職員もいるがそうでない職員もいる	58.5%
ほとんどの職員は親身に話を聞いてくれない	26.0%



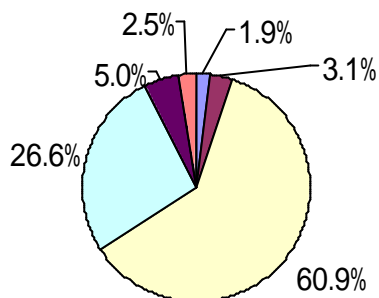
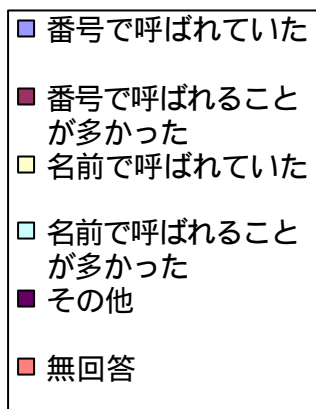
問10 - D 職員は信頼できるか

職員は信頼できる	3.3%
ほとんどの職員は信頼できる	7.9%
信頼できる職員もいるがそうでない職員もいる	53.2%
ほとんどの職員は信頼できない	32.1%



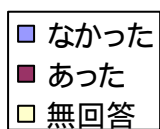
問 1 1 職員からどのような呼称で呼ばれていたか

名前で呼ばれていた 60.9%
 名前で呼ばれることが多かった 26.6%

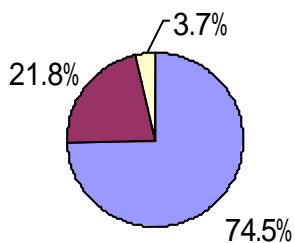


問 1 2 職員から暴力，脅し，いじめを受けたことの有無

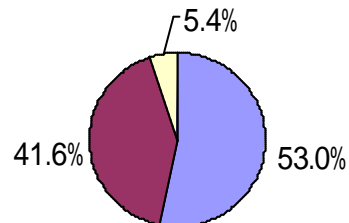
なかった 60.8%
 あった 34.2%



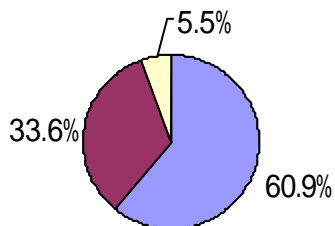
A級



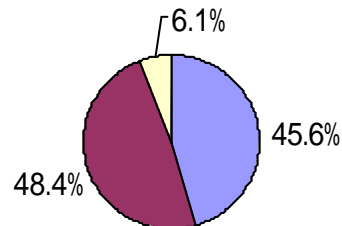
LA級



B級



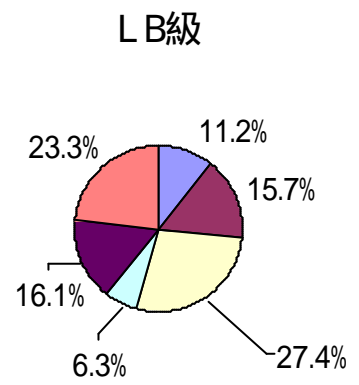
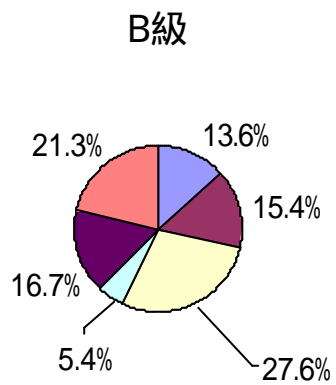
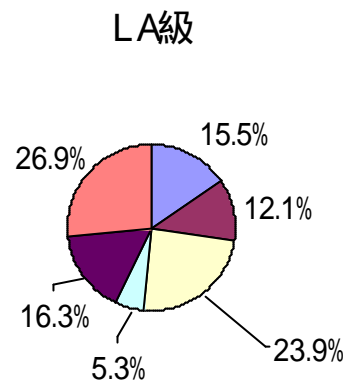
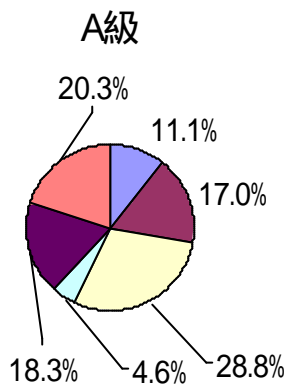
LB級



問12 - A 職員からの暴力，脅し，いじめの回数

3～5回	26.6%
10回以上	16.8%
2回	14.6%
1回	13.1%

(暴力，脅し，いじめを受けたとする者877人に占める割合)



問 1 2 - B 職員からの暴力，脅し，いじめの内容（自由回答・回答数 8 0 1）

暴力，脅し，いじめの態様

暴力 2 2 1 人（ 8 . 6 % ）

脅し 1 4 1 人（ 5 . 5 % ）

いじめ 3 2 6 人（ 1 2 . 7 % ）

（有効回答中に占める割合）

「暴力」の状況等

[回答要旨]

- ・ 態度が悪いとして，頭を平手で殴られた。
- ・ 体罰がまかり通っており，安全靴で膝を蹴り上げられたり，耳が聞こえなくなるほどきつくたたかれたりした。
- ・ 指示に従わなかったことで，耳を引っ張られた。
- ・ 作業拒否をしたことで，殴る蹴るされた。
- ・ さしたる理由もなく，胸ぐらをつかまれた。
- ・ 姿勢のことで注意され，たたかれた。
- ・ 他の受刑者とけんかをした際，後ろから蹴飛ばされたり，頭をどつかれた。
- ・ 他の受刑者のけんかを止めた際，殴られ，革手錠をはめられた。3人がかりでベルトを締められた。
- ・ 規則違反の際，おなかを膝蹴りされた。
- ・ 取調中，袋をかぶせられ，4，5人から足を蹴られた。
- ・ 願せんを出したところ，肩を壁にぶつけられ，骨折した模様。
- ・ 机に頭を打ちつけられ，後ろ手錠で50メートルほど引きずられた。
- ・ 保護房で，革手錠をさせられ，正座をさせられて太ももに乗られた。
- ・ 保護房に入ったとき，革手錠を力一杯締められ，上からのしかかられ，足蹴にされた。
- ・ 軽屏禁執行中，横臥していたところ，寝具を取り上げられ，顔面を殴打された。
- ・ 職員の機嫌が悪いとき，首を絞められ投げ飛ばされた。腕を締め上げられ，顔を膝で踏みつけられた。
- ・ 担当と言い合いになった際，複数で一斉に殴る蹴るの暴力を振るわれ，柔道の絞め技で落とされた。
- ・ 大男の職員に両足首を持たれ，逆さまにされ，左右に振られ，頭をこぶしで殴られた。
- ・ 頭を本錠で殴られた。蛇がいる部屋に閉じこめられた。毒蛇にかまれて目が見えなくなった。けん銃で撃たれて弾が足に当たった。一晩中外に立たされた。

「脅し」の状況等

[回答要旨]

- ・ 「仮釈放が欲しいんだろう。言うことをきかないと、早く出られないぞ。」と脅された。
- ・ 「ヤクザの親分など皆知り合いだ。お前も身内がいるんだから、気を付けろ」と脅された。
- ・ 「規則，規律を守らなければ，懲罰に入れる。」と脅された。
- ・ けんかなどしたとき，「お前は犬猫同然だ。お前ら一人ぐらい死んでも紙切れ一つで済むんだ。」と脅された。
- ・ ことあるごとに，「級を下げる。」，「取調べにしてやろうか。」などと言われた。
- ・ 取調べを受けたとき，「この調書と合わさなければ，お前は絶対に工場に出さず，このまま懲罰房に入れておくから，覚えておけ。」と脅された。
- ・ 職員に逆らったとき，「お前みたいなヤツは独居に入れて，キチガイにさすぞ。」と言われた。
- ・ 職員の気に入らないことをした際，「進級や仮釈放にひびくようにしてやる。」と脅された。
- ・ 「お前ら一人や二人，冷たくなって裏門から出てっても我々は痛くもかゆくもないんだ。」と言われた。
- ・ 無期囚である自分に，「お前は生きて娑婆に帰らさんぞ。」，「生きて出所しようなど思うな。」と言われた。

「いじめ」の状況等

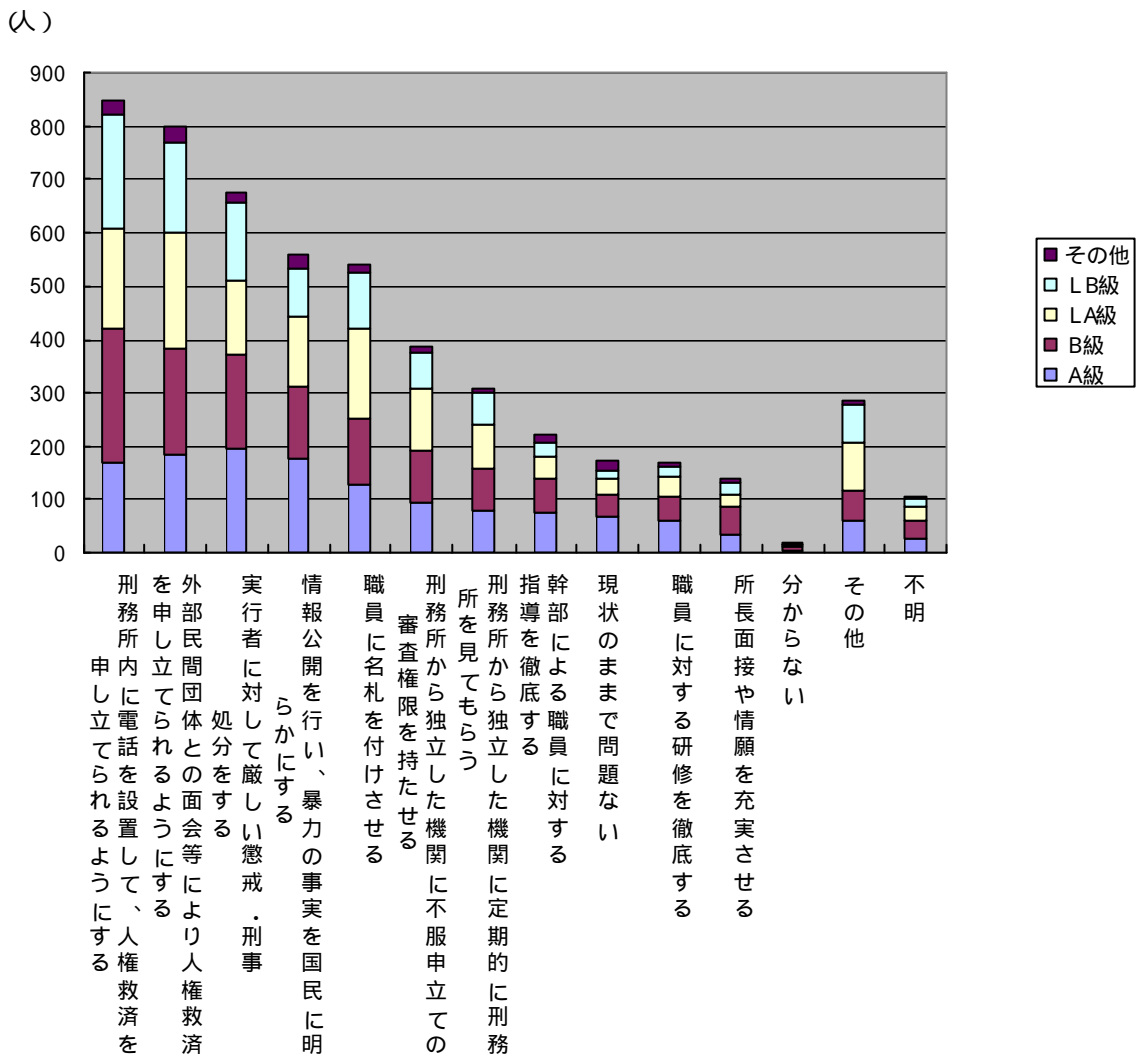
[回答要旨]

- ・ 「こいつはバカだ。」と職員皆の前で言われた。
- ・ 投棄してもらえなかった。
- ・ 大便を我慢しろと言われた。
- ・ 雨が降る中で洗濯物を干さされ，「濡れるか乾くかやってみろ。」と言われた。
- ・ 「一生出さない。毎日いじめてやる。」と何回も言われた。
- ・ 数年間にわたり，工場担当職員の肩・足・腰のマッサージをさせられた。
- ・ 発熱し，頭痛，悪寒がひどいのに，工場への出役を強要された。
- ・ 面会に来た妻のことを若くないとか，よその男と車に乗っているのを見たとか言われた。
- ・ 足が少し悪いにもかかわらず，工場に行く際に足が合わないといっていじめられた。
- ・ 在日外国人である自分の名前をもじって馬鹿にされたり，差別用語で人種差別を受けた。

問 1 3 職員の受刑者に対する暴力，脅し，いじめをなくす方策(2 つまで選択)

(本項における比率は，有効回答中に占める割合)

電話の設置による人権救済申立て	8 4 9 人(3 3 . 1 %)
外部民間団体との面会等による人権救済申立て	7 9 9 人(3 1 . 2 %)
実行者に対する厳しい懲戒処分，刑事処分	6 7 6 人(2 6 . 4 %)



「その他」の主な内容

- ・ 第三者機関の常駐，連絡 1 8 人(0 . 7 %)
- ・ むしろ受刑者側に問題がある 1 5 人(0 . 6 %)
- ・ 古い行刑制度の改革，監獄法改正 7 人(0 . 3 %)
- ・ 選択肢と重複 9 5 人(3 . 7 %)

問14 その他、職員についていやだったこと、つらかったこと

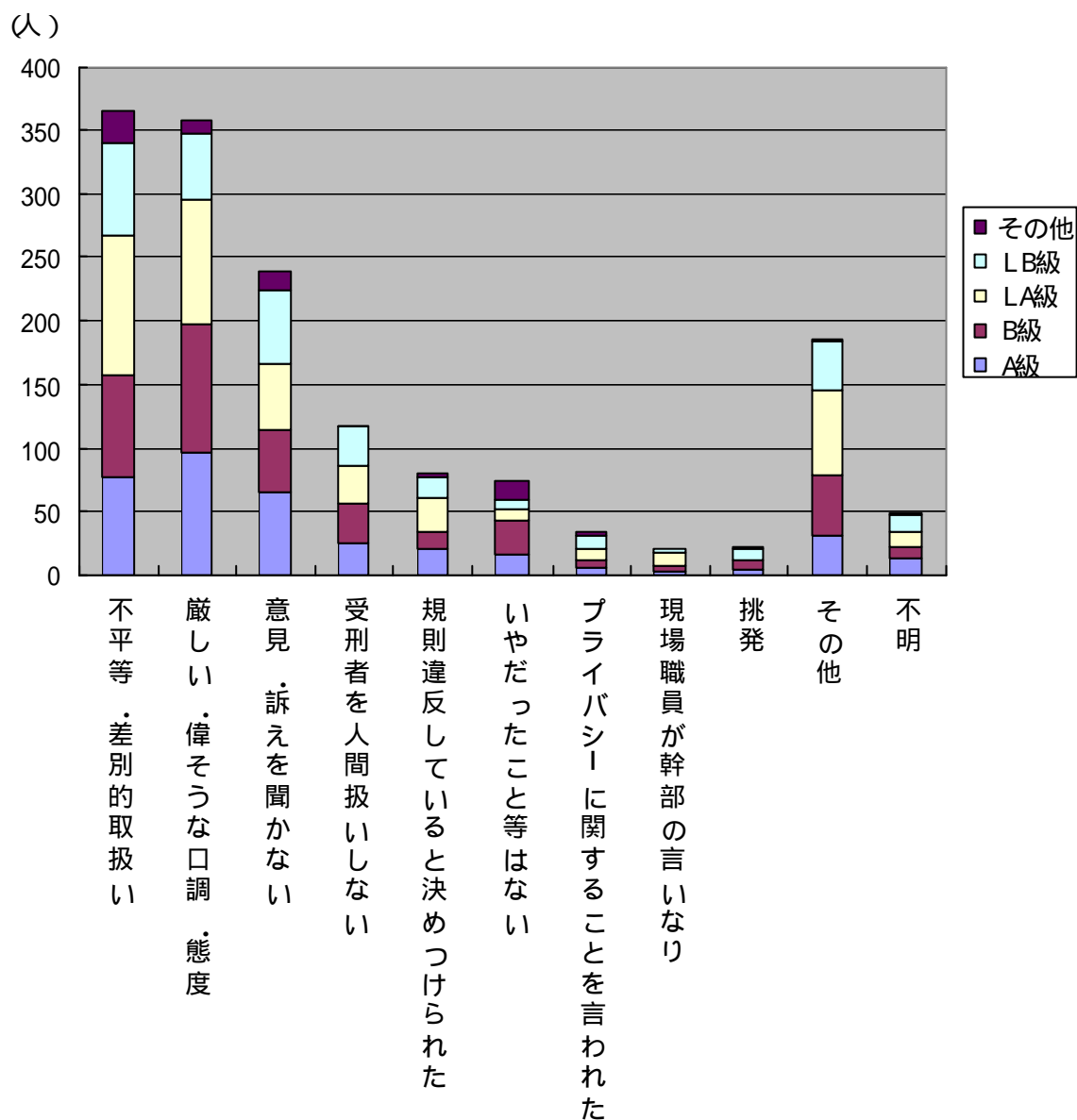
(自由回答・回答数1384)

不平等・差別的取扱い 365人(14.2%)

厳しい、偉そうな口調、態度 357人(13.9%)

意見・訴えを聞かない 239人(9.3%)

(有効回答中に占める割合)



問 1 5 職員についてありがたかったこと，うれしかったこと

(自由回答・回答数 1 1 5 4)

工場担当等が親身に相談

3 4 3 人 (1 3 . 4 %)

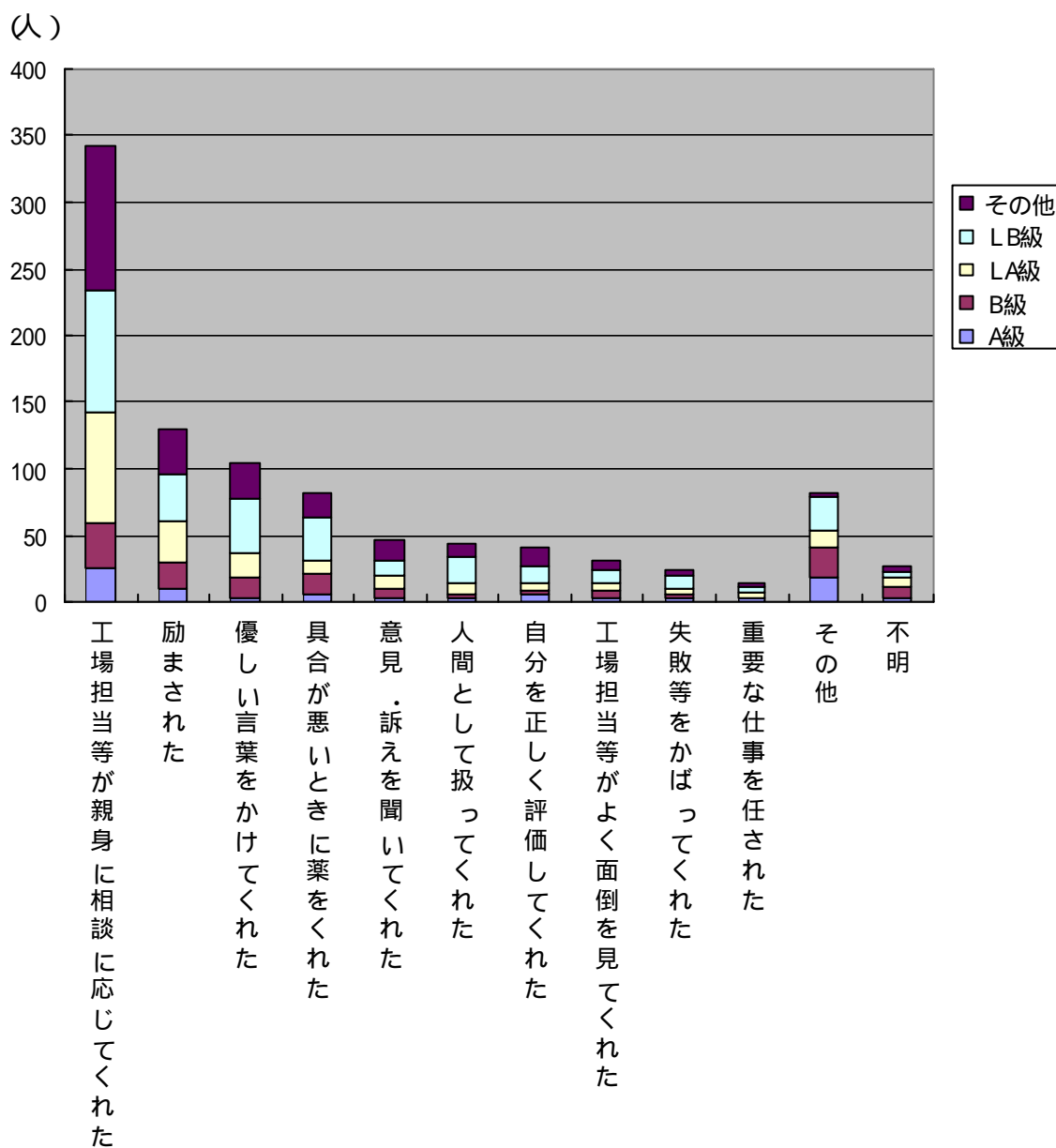
励まされた

1 2 9 人 (5 . 0 %)

優しい言葉をかけてくれた

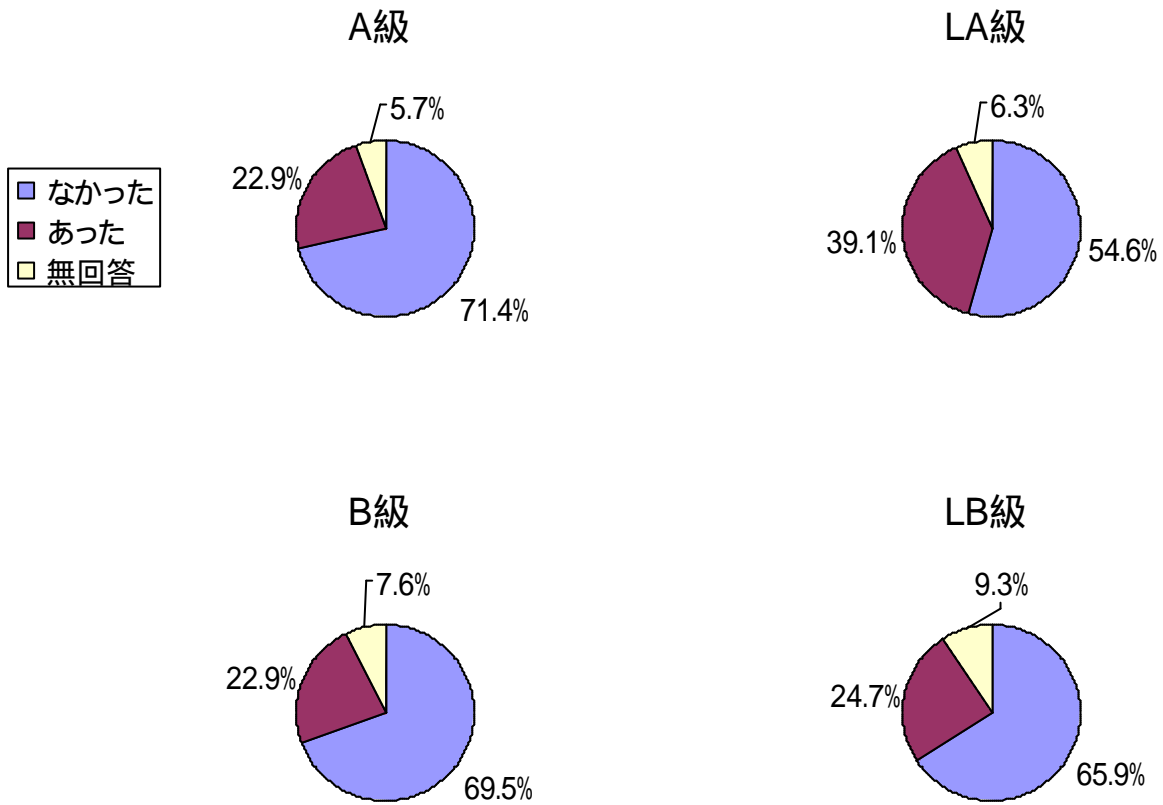
1 0 5 人 (4 . 1 %)

(有効回答中に占める割合)



問 1 6 他の受刑者から暴力，脅し，いじめを受けたことの有無

なかった 65.7%
 あった 27.3%



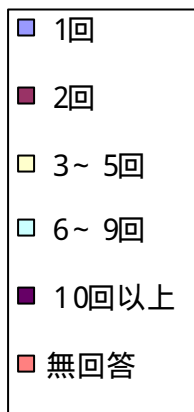
問 1 6 - A 他の受刑者からの暴力，脅し，いじめの回数

3～5回 27.9%

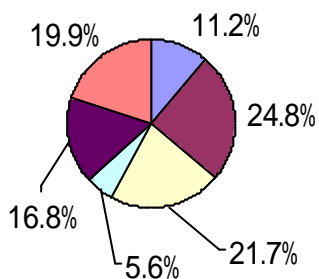
2回 16.1%

10回以上 16.0%

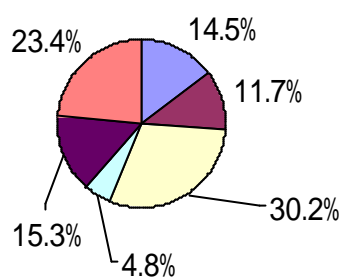
(暴力，脅し，いじめを受けたとする者700人中に占める割合)



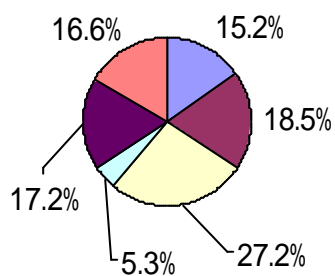
A級



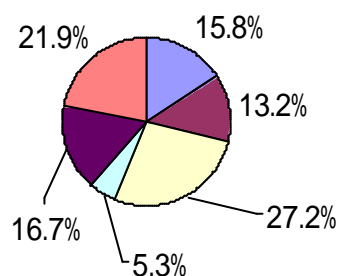
LA級



B級



LB級



問 1 6 - B 他の受刑者からの暴力，脅し，いじめの態様

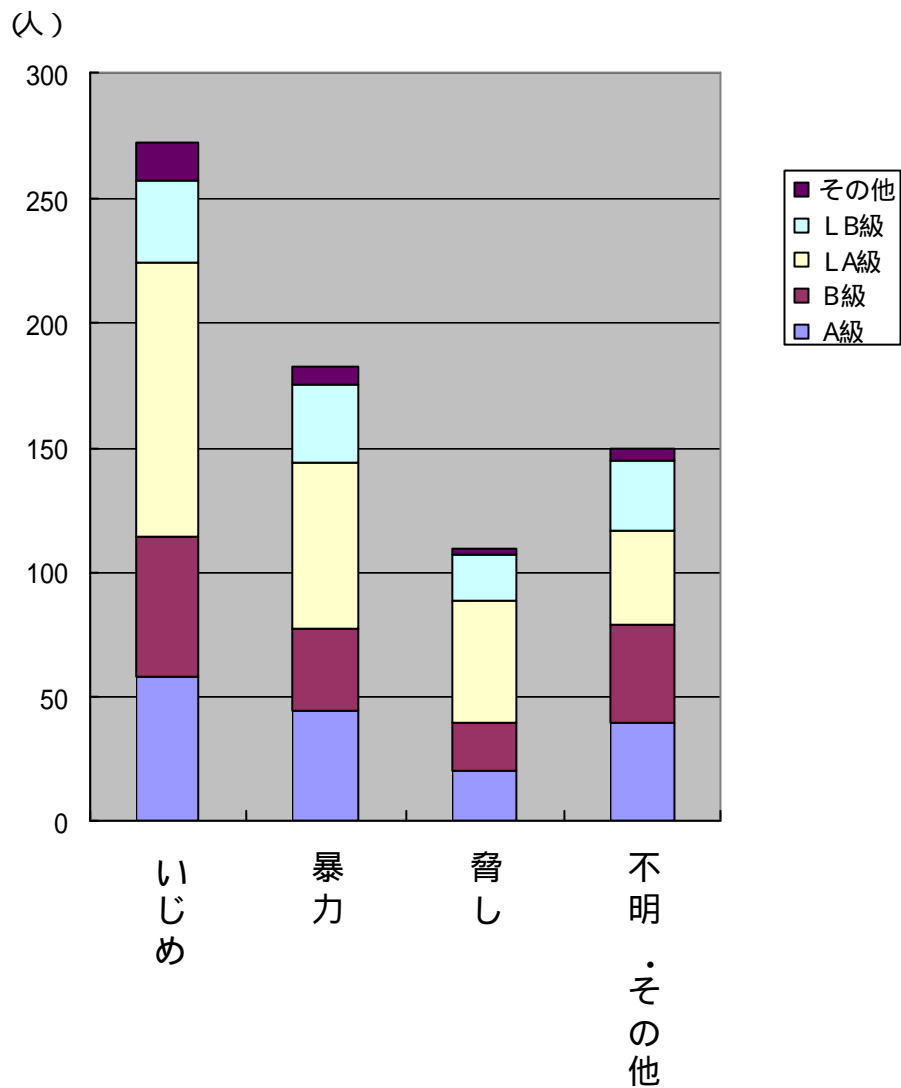
(自由回答・回答数 6 3 4)

いじめ 2 7 2 人 (1 0 . 6 %)

暴力 1 8 2 人 (7 . 1 %)

脅し 1 0 9 人 (4 . 3 %)

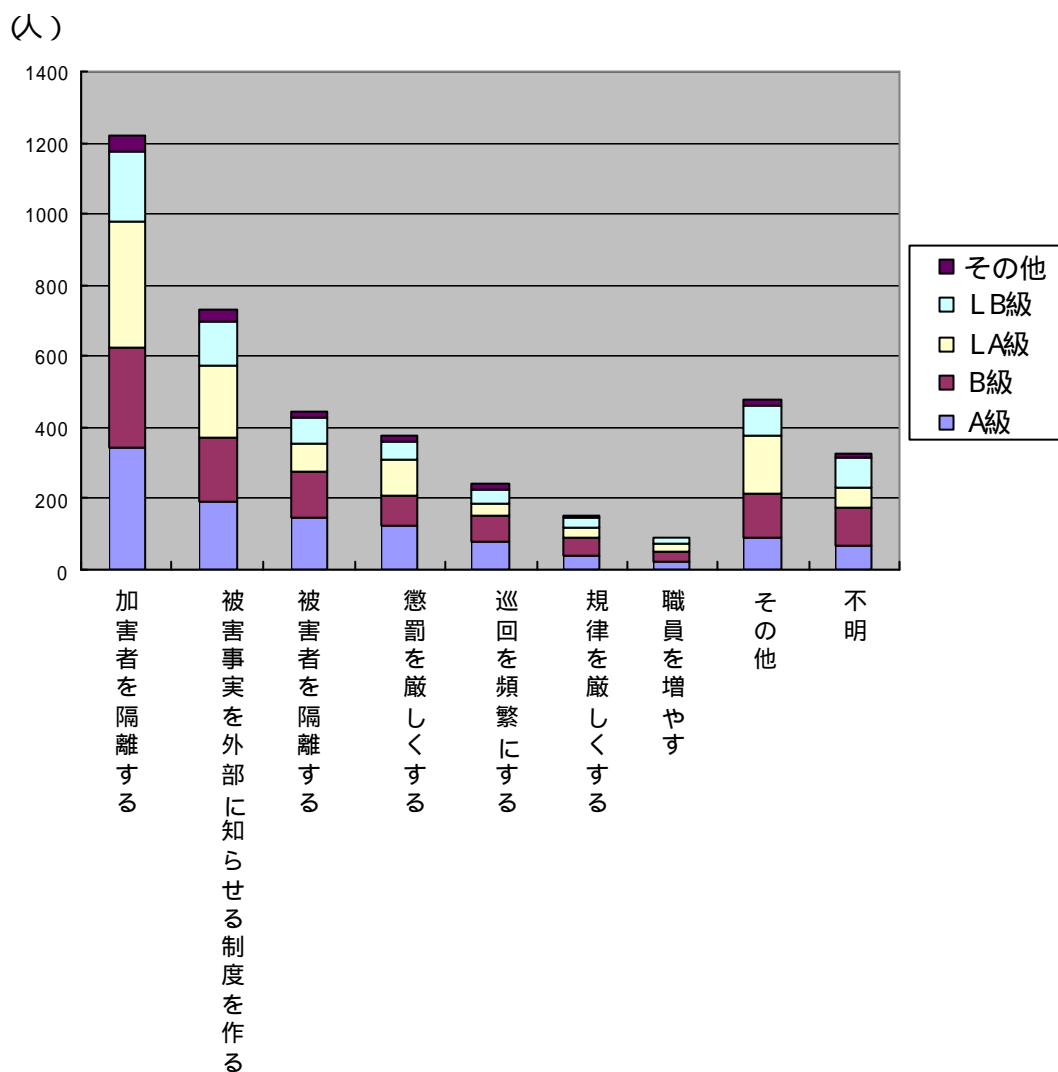
(有効回答中に占める割合)



問 1 7 他の受刑者からの暴力，脅し，いじめをなくす方策（2つまで選択）

（本項における比率は，有効回答中に占める割合）

加害者を隔離	1 2 2 1人（47.7%）
被害事実を外部に知らせる制度を作る	7 2 9人（28.5%）
被害者を隔離	4 4 5人（17.4%）



「その他」の主な内容

- ・ 独房化 8 8 人（3.4%）
- ・ 職員への対応 8 0 人（3.1%）
- ・ なくすのは不可能 4 7 人（1.8%）
- ・ 選択肢と重複 1 8 人（0.7%）

問 1 8 他の受刑者について、いやだったこと、つらかったこと

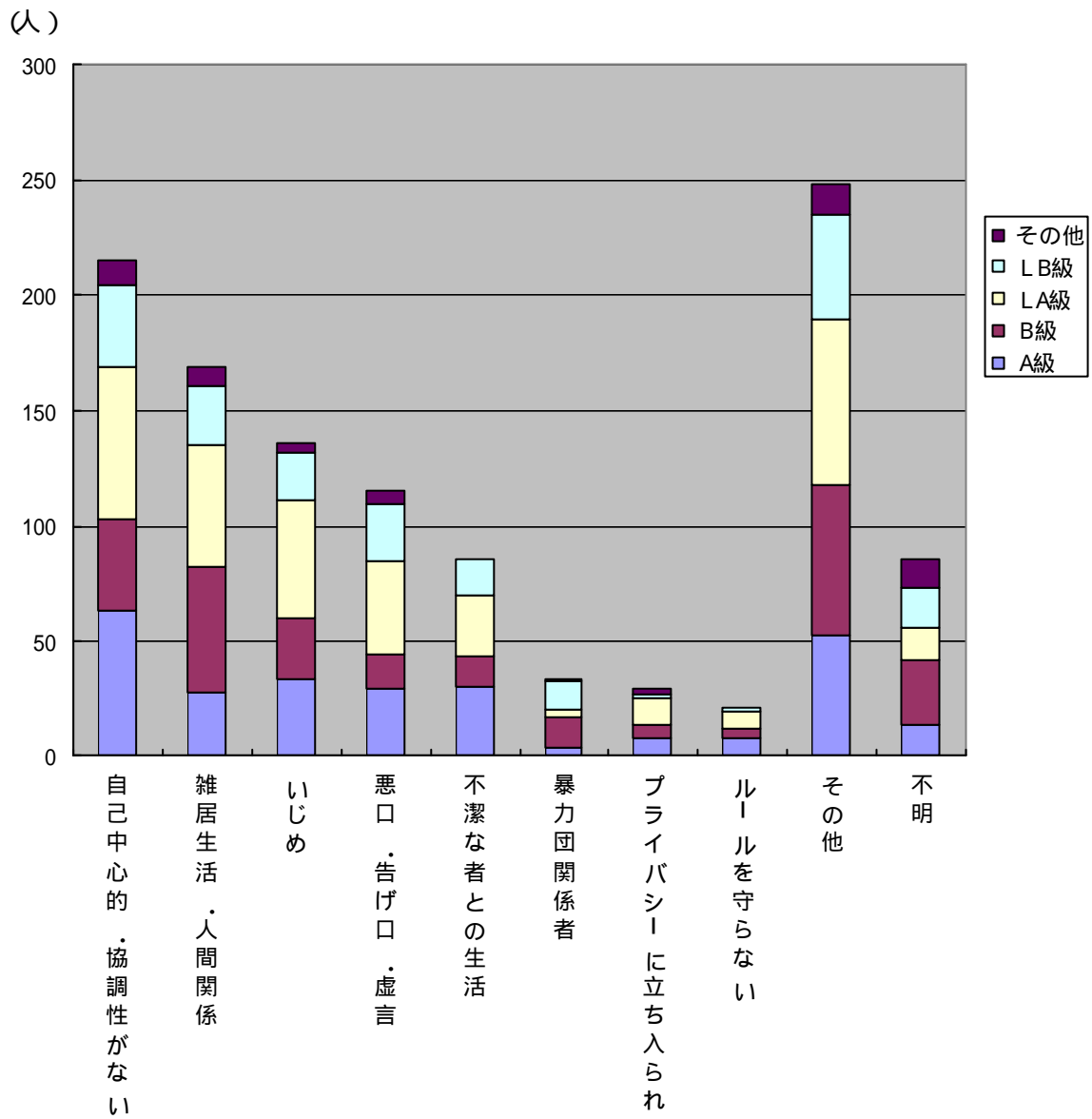
(自由回答・回答数 1 0 2 4)

自己中心的，協調性がない 2 1 6 人 (8 . 4 %)

雑居生活，人間関係 1 6 9 人 (6 . 6 %)

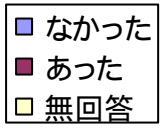
いじめ 1 3 6 人 (5 . 3 %)

(有効回答中に占める割合)

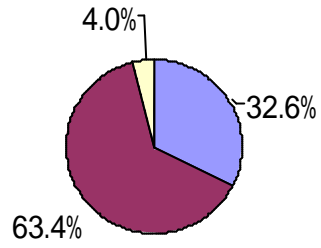


問 1 9 守るのがつらかった又は改めるべき規則の有無

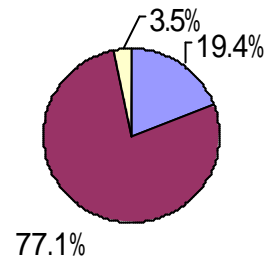
あった 71.3%
 なかった 24.6%



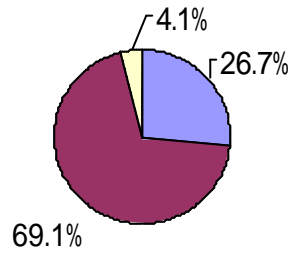
A級



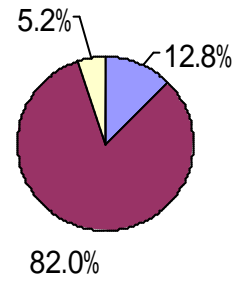
LA級



B級



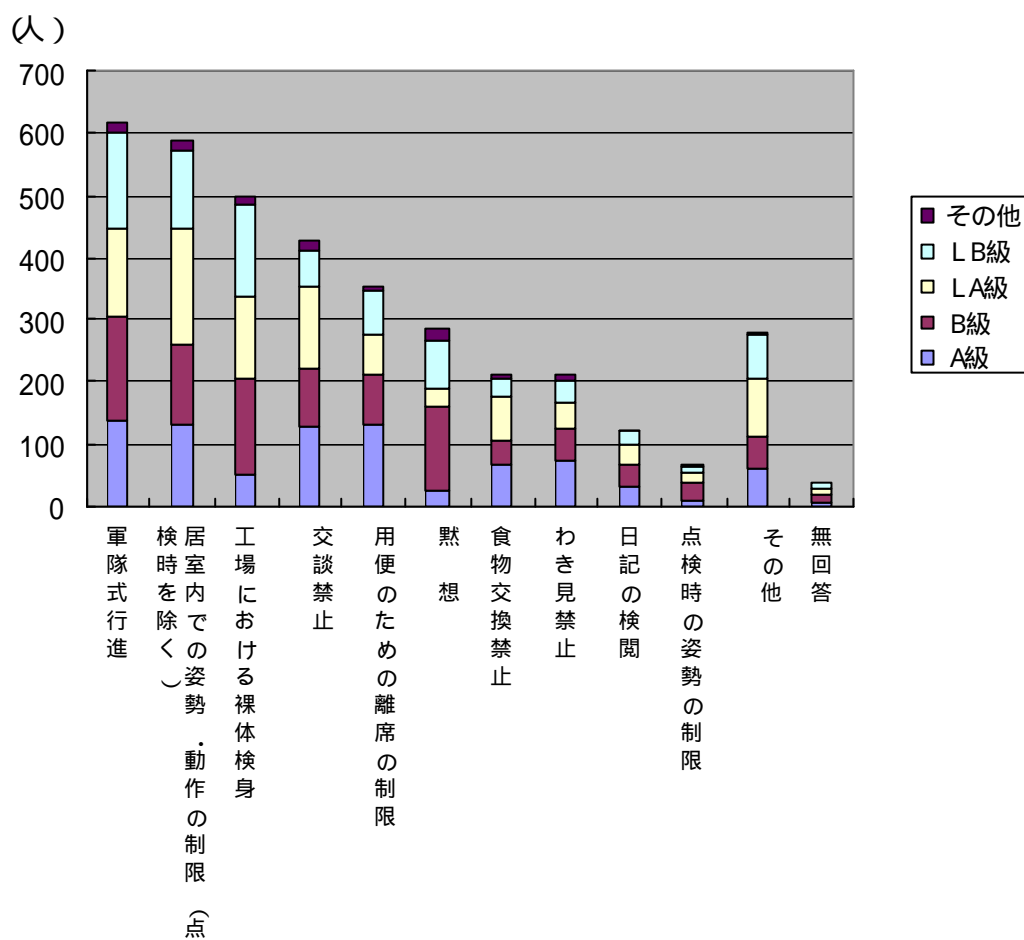
LB級



問 1 9 - A 守るのがつらかった規則 (2 つまで選択)

(本項における比率は , 有効回答中に占める割合)

軍隊式行進	6 1 6 人 (2 4 . 0 %)
居室内での姿勢・動作の制限	5 8 8 人 (2 3 . 0 %)
工場における裸体検身	4 9 8 人 (1 9 . 4 %)



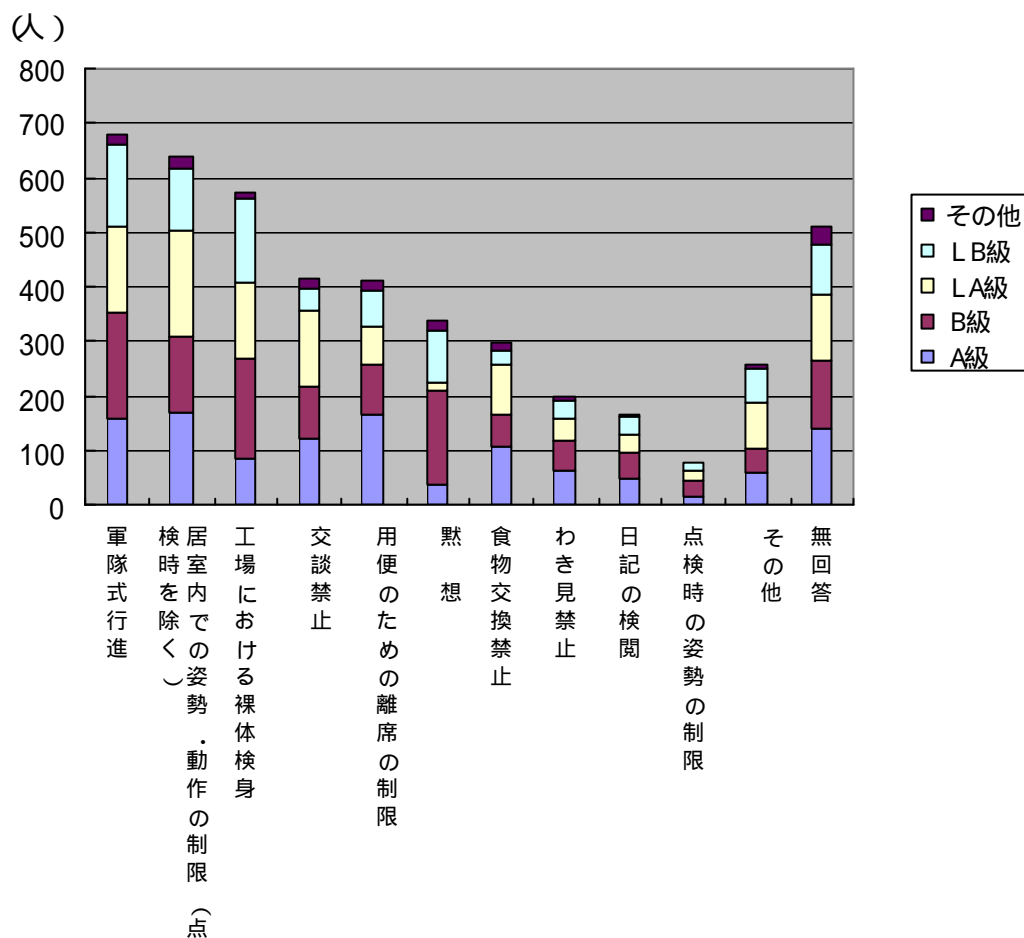
「その他」の主な内容

- ・ 離席以外の用便に関する制限 1 8 人 (0 . 7 %)
- ・ 選択肢と重複 9 6 人 (3 . 7 %)

問 1 9 - B 改めてほしい規則（2つまで選択）

（本項における比率は，有効回答中に占める割合）

軍隊式行進	679人（26.5%）
居室内での姿勢・動作の制限	638人（24.9%）
工場における裸体検身	571人（22.3%）



「その他」の主な内容

- ・ 運動の制限 15人（0.6%）
- ・ 就寝に関する制限 15人（0.6%）
- ・ 所持品の制限 11人（0.4%）
- ・ 選択肢と重複 91人（3.6%）

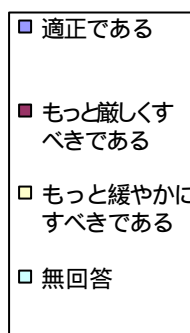
問 2 0 現在の刑務所の規律，秩序についてどう思うか。

もっと緩やかにすべき 1 3 2 8 人 (5 1 . 8 %)

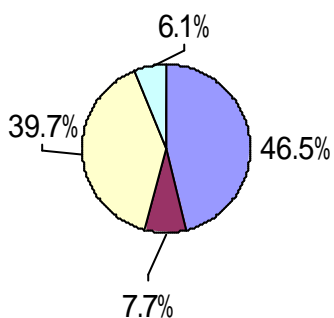
適正である 8 7 1 人 (3 4 . 0 %)

もっと厳しくすべき 1 5 2 人 (5 . 9 %)

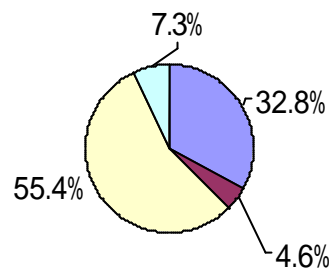
(有効回答中に占める割合)



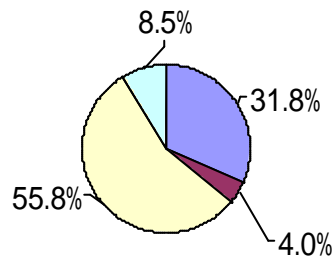
A級



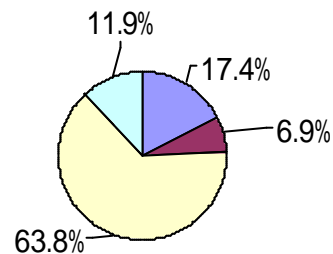
LA級



B級



LB級



問 2 0 - A その理由 (自由回答・回答数 1 1 7 9)

厳しくすべきと考える理由

更生が期待できない	3 6 人 (2 3 . 7 %)
不まじめな者がいる	2 6 人 (1 7 . 1 %)
規律が緩く、不公平がある	2 5 人 (1 6 . 4 %)

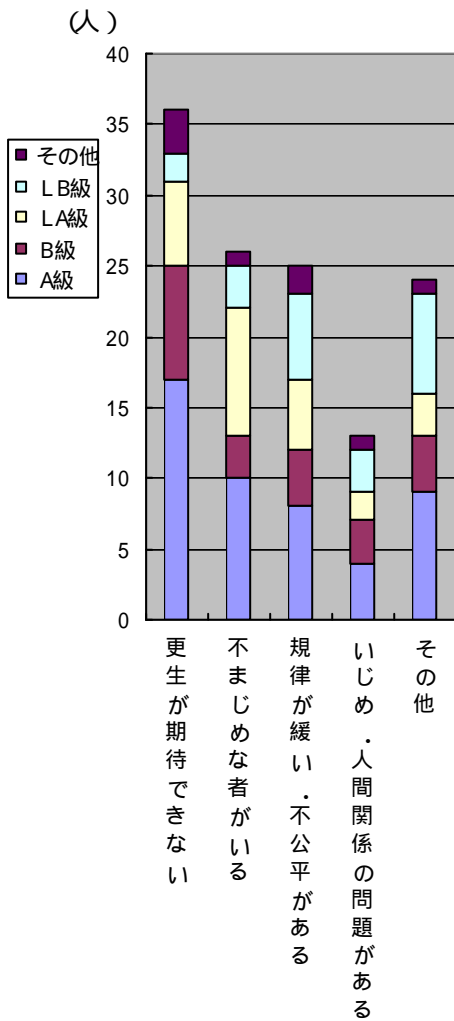
(厳しくすべきとする者 1 5 2 人 に 占 め る 割 合)

緩やかにすべきと考える理由

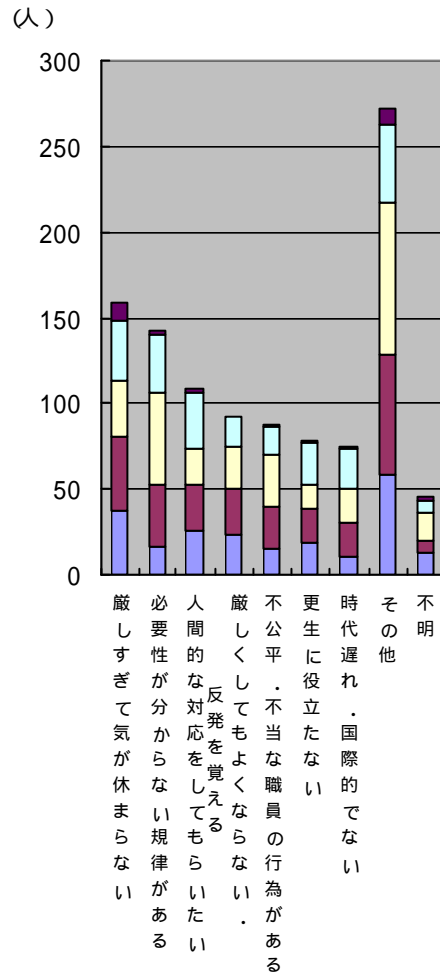
厳しすぎて気が休まらない	1 5 9 人 (1 2 . 0 %)
必要性が分からない規則がある	1 4 2 人 (1 0 . 7 %)
人間的な対応をしてほしい	1 0 8 人 (8 . 1 %)

(緩やかにすべきとする者 1 3 2 8 人 に 占 め る 割 合)

厳しくすべきと考える理由

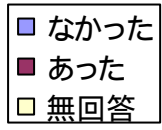


緩やかにすべきと考える理由

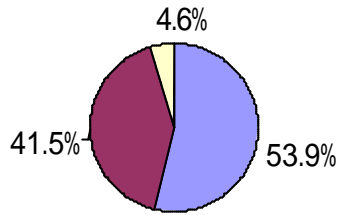


問 2 1 規則違反の取調べを受けたことの有無

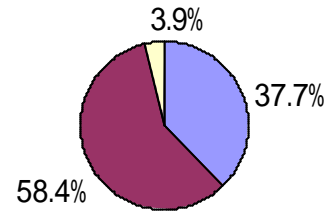
あった 56.6%
なかった 37.5%



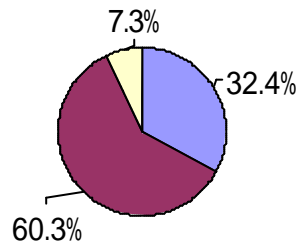
A級



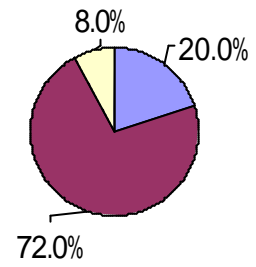
LA級



B級



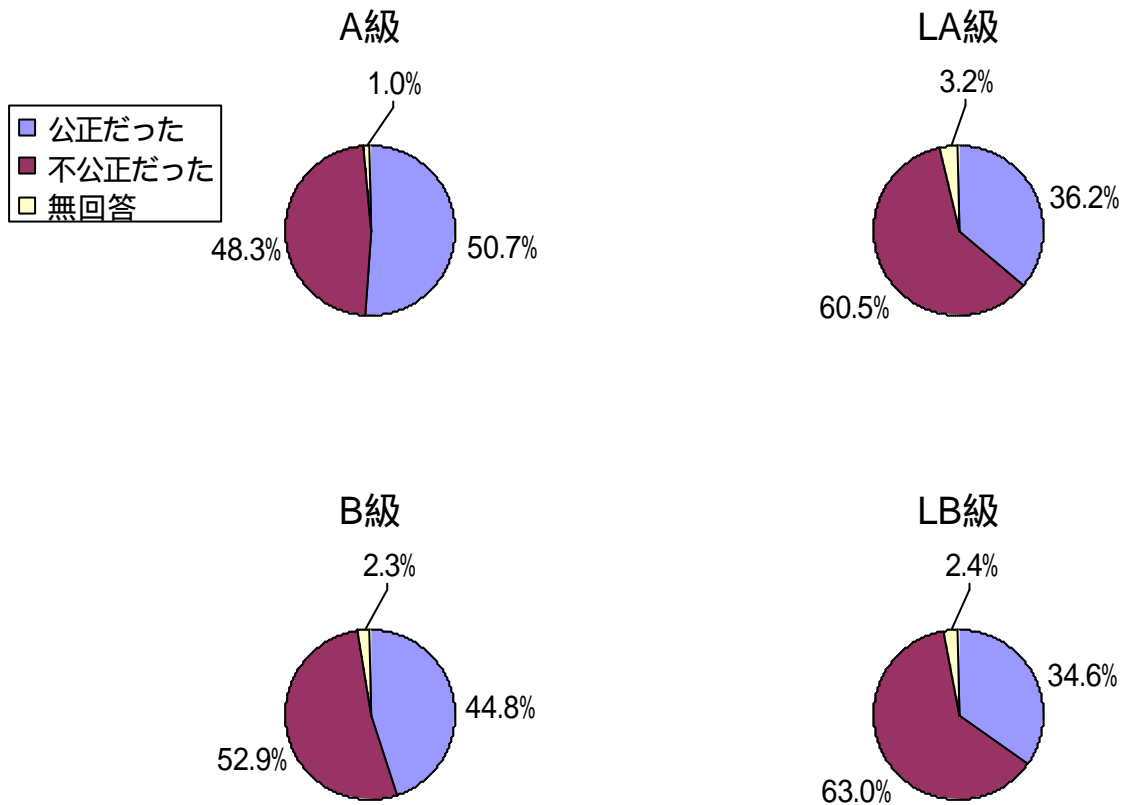
LB級



問 2 1 - A 規則違反の取調べは公正だったか

不公正だった 55.4%
公正だった 42.4%

(取調べを受けたとする者1449人に占める割合)



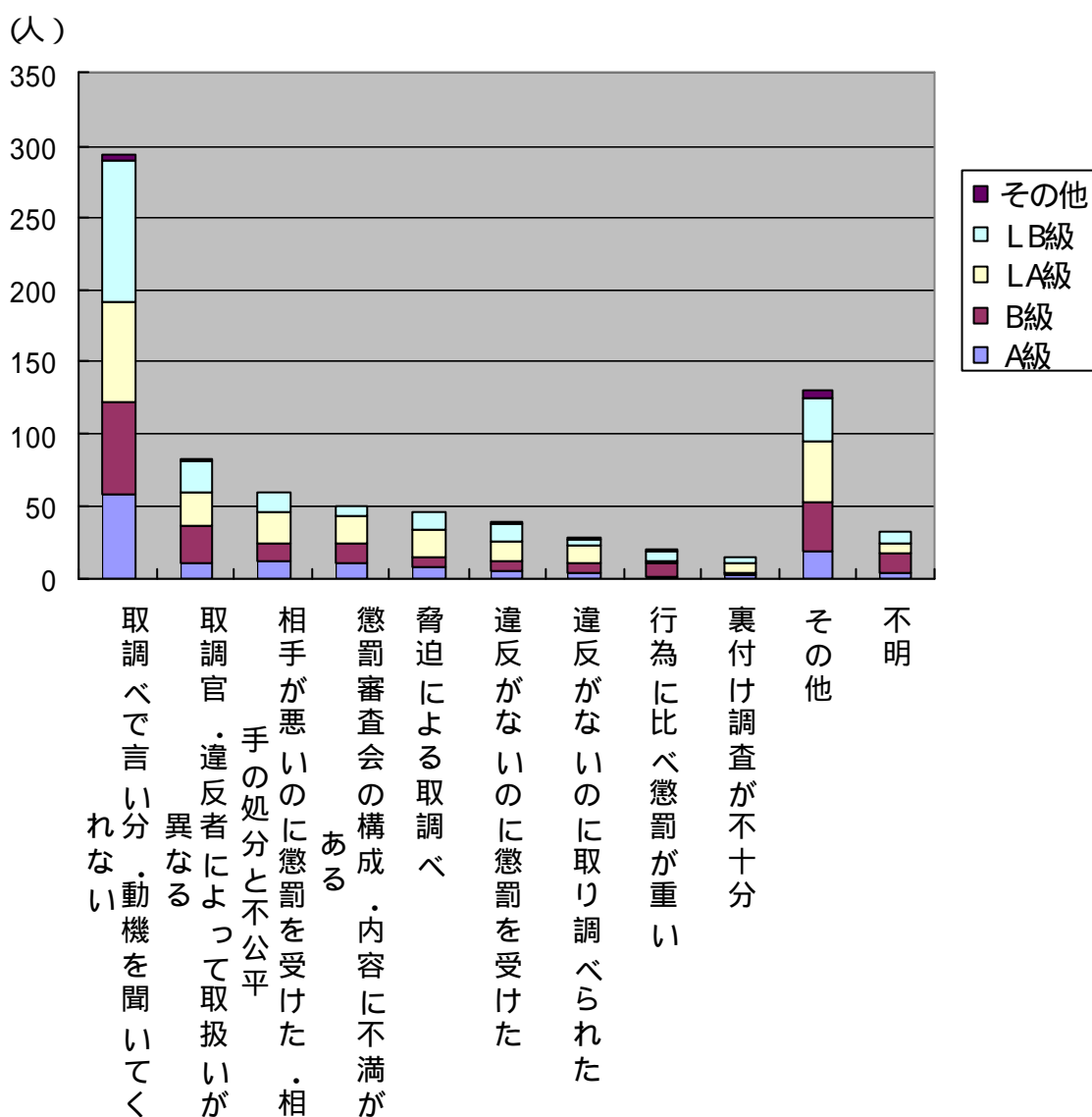
問 2 1 - B 取調べが不公正だったとする理由（自由回答・回答数 7 6 8）

取調べで言い分、動機を聞いてくれない 2 9 3 人(3 6 . 5 %)

取調官、違反者によって取扱いが異なる 8 3 人(1 0 . 3 %)

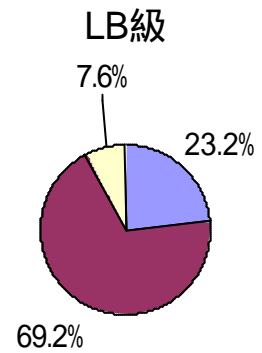
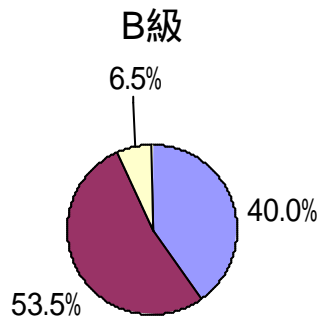
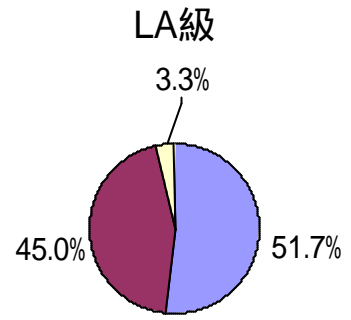
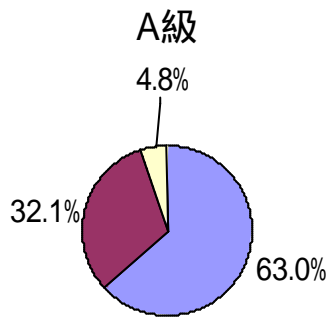
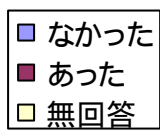
相手が悪いのに懲罰を受けた 6 0 人(7 . 5 %)

(不公正だったとする者 8 0 3 人に占める割合)



問 2 2 懲罰を受けたことの有無

あった 48.1%
 なかった 46.4%

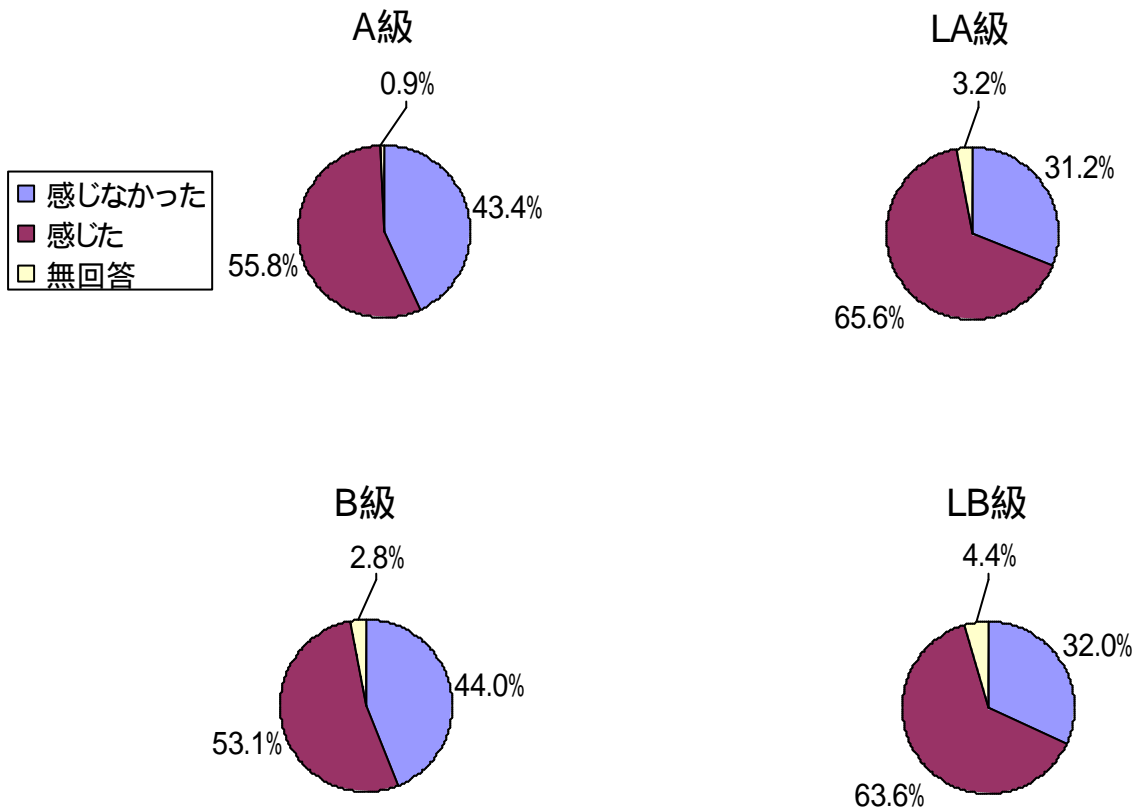


問 2 2 - A 懲罰を不当だと感じたか

感じた 58.5%

感じなかった 38.6%

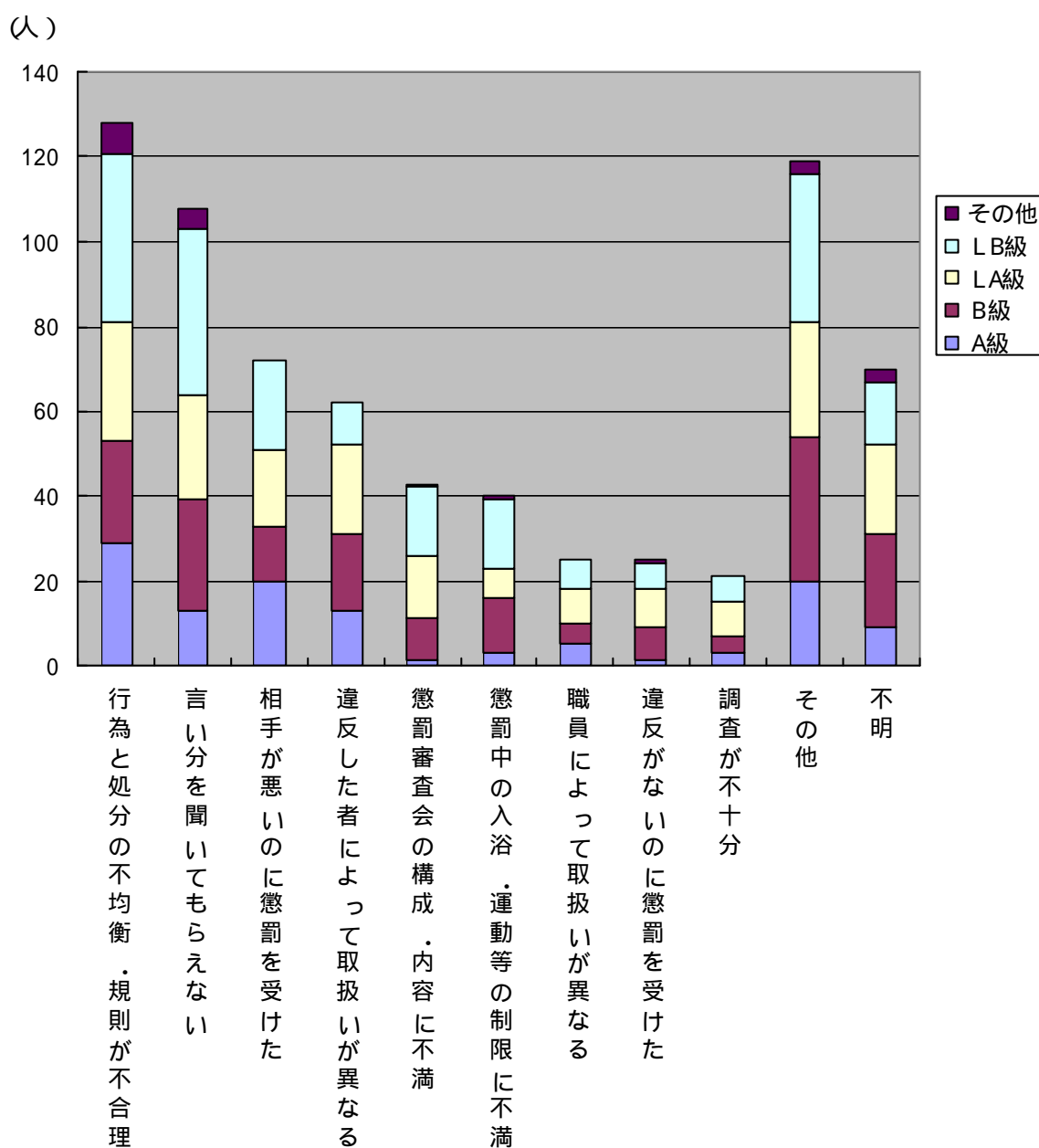
(懲罰を受けたとする者 1 2 3 2 人に占める割合)



問 2 2 - B 懲罰を不当だと感じた理由（自由回答・回答数 6 8 7）

行為と処分の不均衡，規則が不合理	1 2 8 人（1 7 . 8 %）
言い分を聞いてもらえない	1 0 8 人（1 5 . 0 %）
相手が悪いのに懲罰を受けた	7 2 人（1 0 . 0 %）

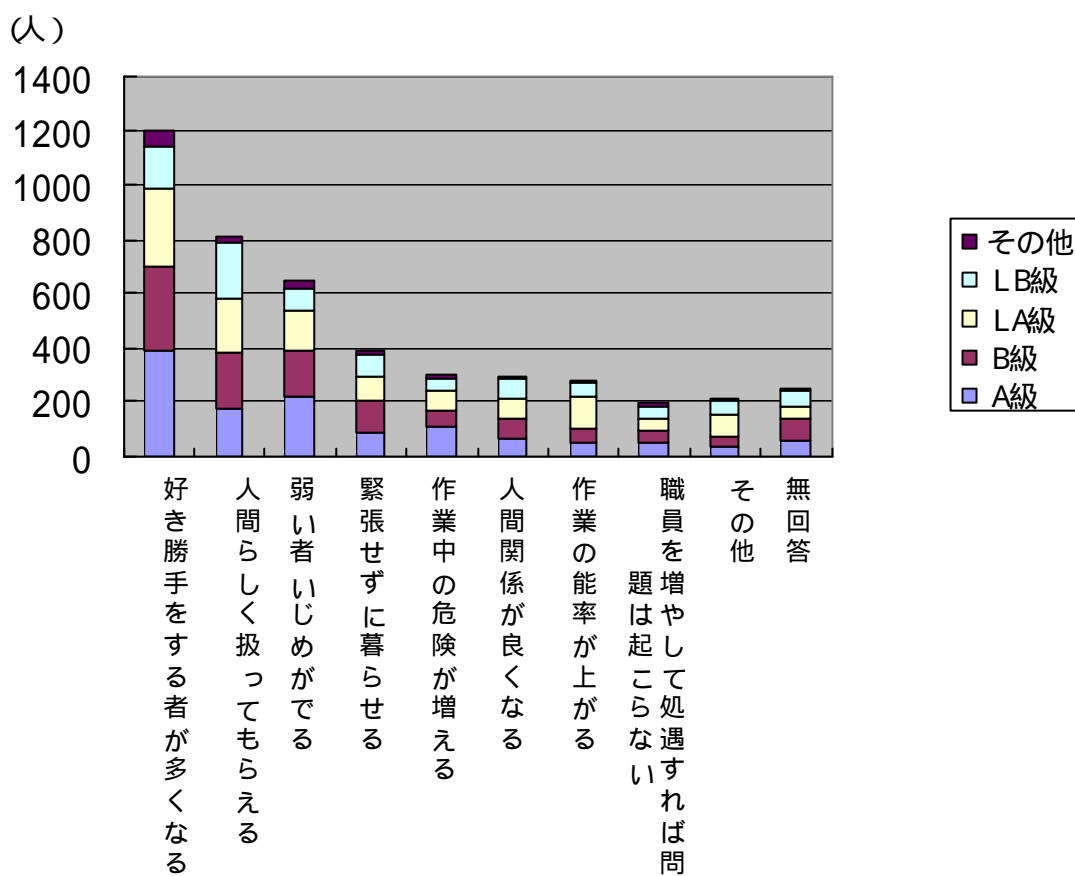
（不当とする者に占める割合）



問 2 3 懲罰や規律を緩やかにした場合に起こること（2つまで選択）

（本項における比率は，有効回答中に占める割合）

好き勝手をする者が多くなる	1 1 9 5 人（4 6 . 6 %）
人間らしく扱ってもらえる	8 1 0 人（3 1 . 6 %）
弱い者いじめがでる	6 5 1 人（2 5 . 4 %）



- 「その他」の主な内容
- ・ 人間らしく生活できる，ゆとりができる 2 7 人（1 . 1 %）
 - ・ 緩くする必要はない 1 5 人（0 . 6 %）
 - ・ 緊張，対立，いじめが増える 1 4 人（0 . 5 %）

問 2 4 反則をしないようにするための、懲罰より良い方法

(自由回答・回答数 923)

人間的な対応(面接等)

100人(3.9%)

「あめ」の充実

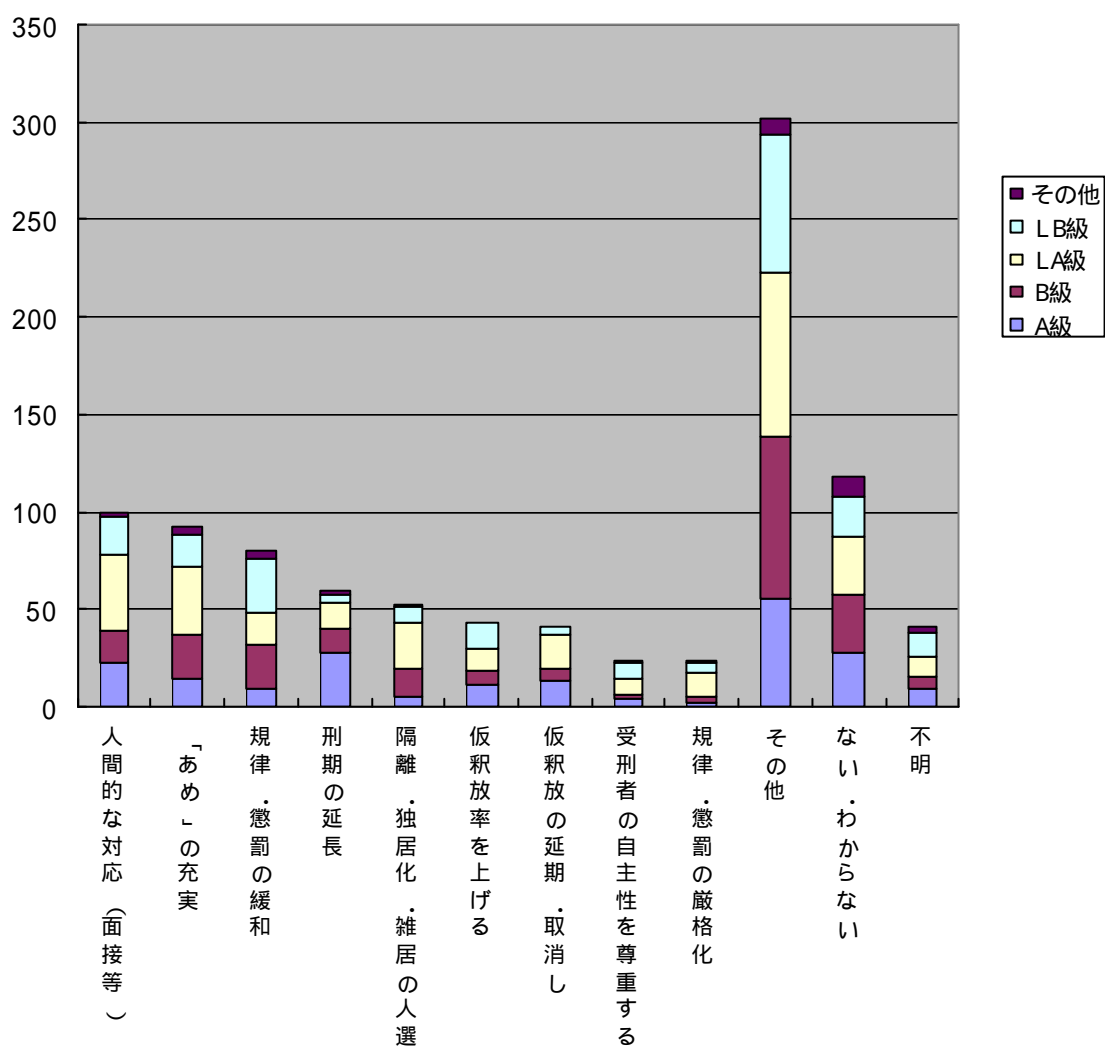
92人(3.6%)

規律・懲罰の緩和

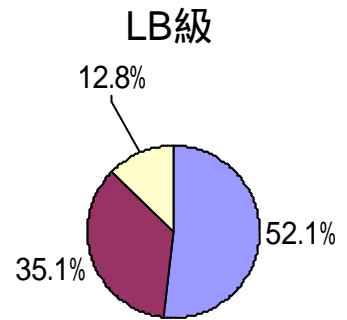
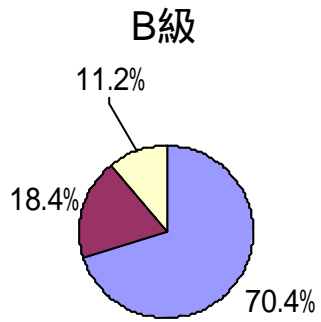
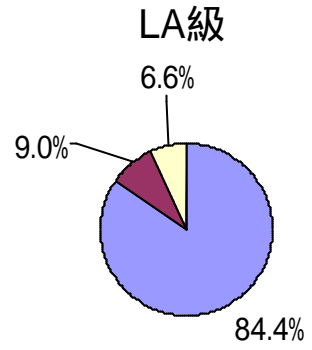
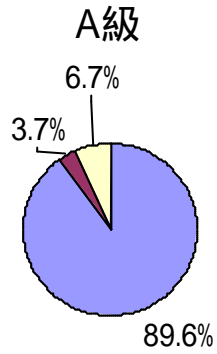
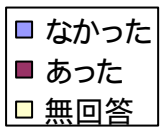
80人(3.1%)

(有効回答中に占める割合)

(人)



問 2 5 保護房に収容されたことがあったか
 なかった 76.3%
 あった 14.6%

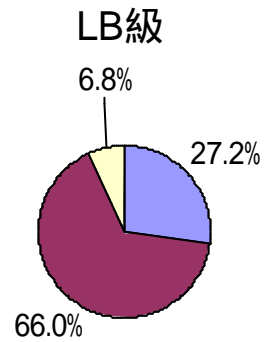
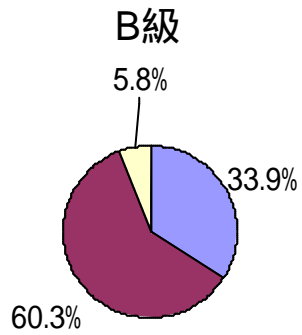
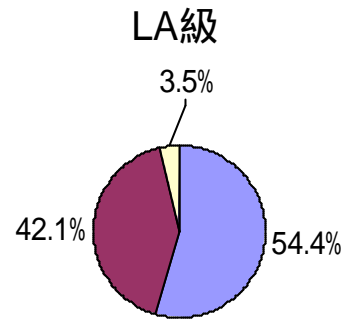
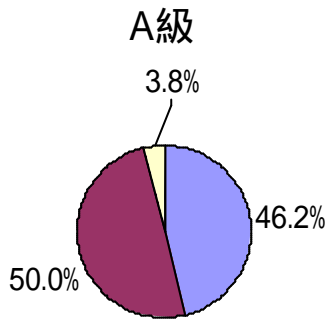
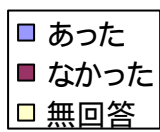


問 2 5 - A 保護房に収容されたとき，収容の要件があったか

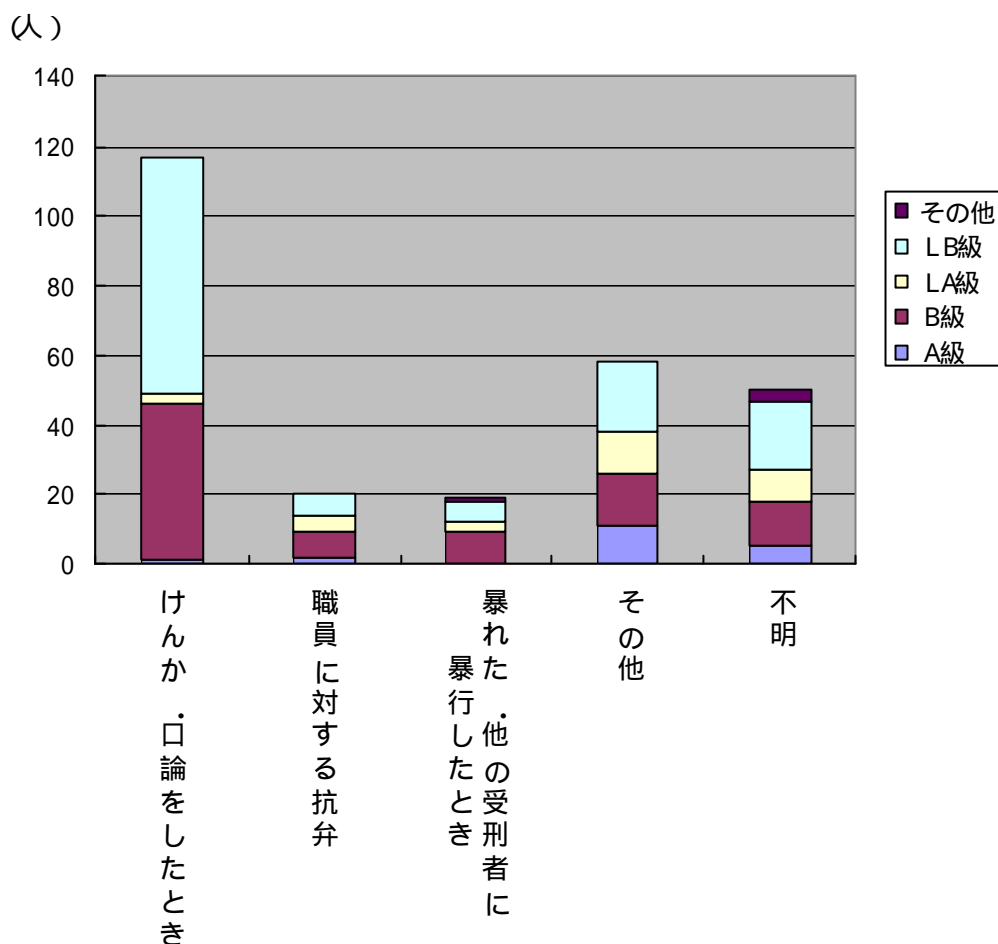
なかった 58.4%

あった 35.9%

(収容されたとする者373人に占める割合)



問 2 5 - B 要件がなかった場合，どのような状況で保護房に收容されたか
 (自由回答・回答数 2 5 9)
 けんか・口論したとき 1 1 7 人 (4 5 . 2 %)
 職員に対する抗弁 2 0 人 (7 . 7 %)
 暴れた，他の受刑者に暴行したとき 1 9 人 (7 . 3 %)
 (回答した者 2 5 9 人に占める割合)



保護房に收容された状況

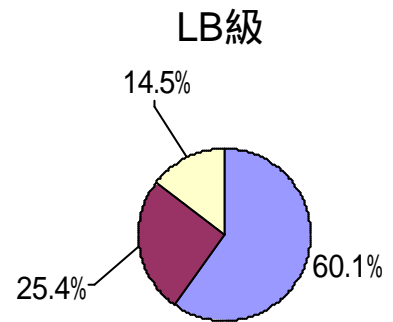
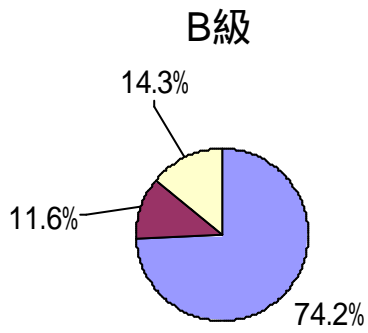
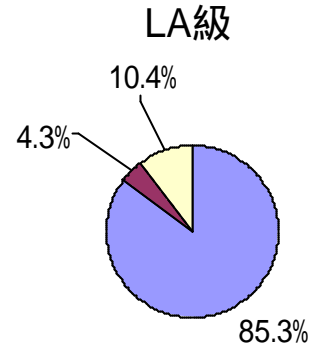
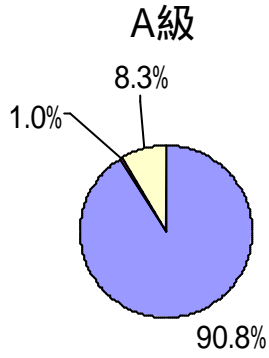
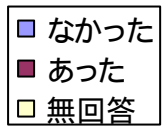
[回答要旨]

- ・ 他の受刑者とけんかをしたが，收容時には落ち着いていた。
- ・ 懲罰で座るのを拒否したとき。はだしの状態でアスファルトの上を引きずられたため，足の皮がすりむけた。
- ・ 就寝後，頭痛薬を繰り返し求めたところ，職員から，深夜なので声が響くと言われ，保護房に連れて行かれた。

- ・ 他の受刑者と口論をして取調室に連行され、一人でいるときに室内の机をひっくり返したとき。職員に暴行され、革手錠をされて保護房まで引きずられたが、途中でヘッドロックされた。
- ・ 職員が、暴言、胸・肩を突き飛ばすなど挑発してきたので、反発したところ革手錠を後ろにかけられた。革手錠のベルトを3人がかりで締め付けられ、息も絶え絶えになった。
- ・ 職員に「お前覚せい剤をやっているのか。」と言われたので「やっていない。謝ってください。」と言ったら、保護房に入れられた。
- ・ 器物損壊、職員への暴言、自殺未遂をしたとき。
- ・ 「ここは刑務所に来れば一度は経験してもらおうところだ。最低3日だ。」と言われた上で入れられた。
- ・ 口論をしたとき。腹に足をかけ革手錠のバンドを締め、苦しいと言っているのに笑いながら締められた。
- ・ 取調室で着衣を脱がされ革手錠を4日間されたので両手首に擦過傷を負い、治るのに1か月くらいかかった。
- ・ 他の受刑者への見せしめ。
- ・ 部屋・懲罰房が空いていないため。
- ・ 職員の気分
- ・ 職員が再審請求について干渉するので、抗議したところ、複数の職員から暴行されて保護房へ入れられた。
- ・ 幹部のメンツのため、全職員の目前で入れられた。
- ・ 何もしていない。
- ・ けんかをしたときに、革手錠をされた上に複数の職員に殴る蹴るの暴行をされて気を失い、気が付いたら保護房に入っていた。

問 2 6 革手錠をされたことの有無

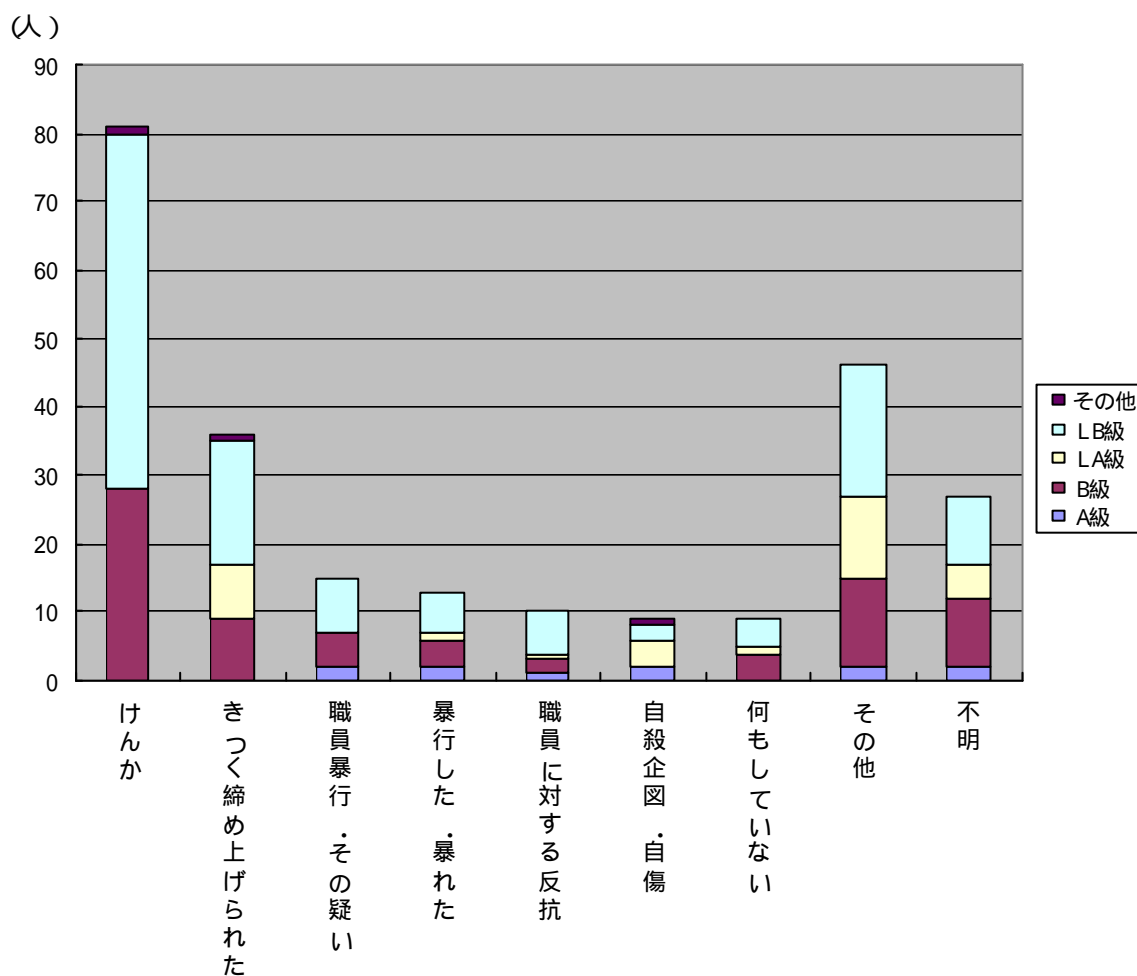
なかった 79.5%
 あった 9.0%



問 2 6 - A 革手錠をされた状況（自由回答・回答数 2 2 2）

けんか	81人（35.1%）
きつく締め上げられた	36人（15.6%）
職員暴行，その疑い	15人（6.5%）
暴行，暴れた	13人（5.6%）
職員に対する反抗	10人（4.3%）

（革手錠をされたとする者 231 人に占める割合）



革手錠をされた状況

[回答要旨]

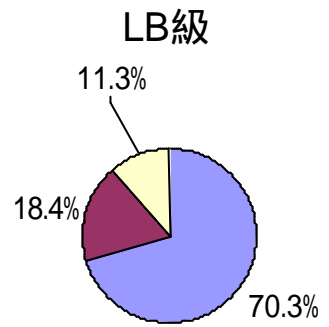
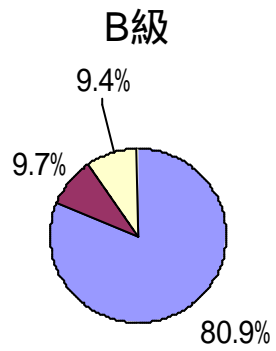
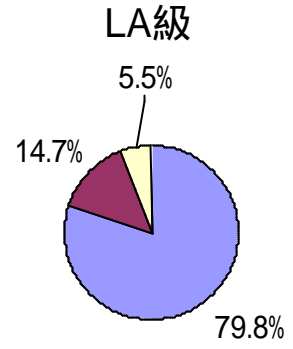
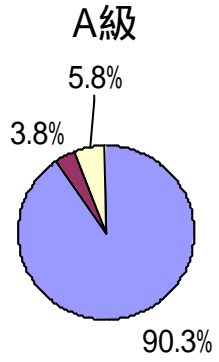
- ・ けんかの後，既に落ち着いていたが，暴行されて革手錠をされた。
- ・ 他の受刑者を殴って，職員の制圧も無視したとき。
- ・ けんかの後，これは儀式なんだと言われ，暴行されて革手錠をされた。
- ・ けんかの後，暴行されて革手錠をきつく締められ，米袋を頭からかぶせられ，

暴行された。

- ・ 所長に飛びかかったとき。
- ・ 職員を殴った後に革手錠をされたが、机に頭を打ち付けられ、後ろ手錠で保護房まで引きずられた。
- ・ 職員から再審請求をやめろと脅されて、抗議したところ、複数の職員から暴行を受けたとき。
- ・ 自殺しようとしたとき。
- ・ 糞を便器中にかき回すなど、狂人を装ったとき。
- ・ 保護房の中で部屋を壊したとき。
- ・ 逃走しようとしたとき。
- ・ 暴行され、革手錠をとともきつく締められた。
- ・ 横になった状態で片足をかけられて思い切り締められ、半日程で意識がもうろうとなったが、1日半で外された。
- ・ 階段から突き落とされ、職員に踏んだり蹴ったりされ、手をねじり上げられて倒れていたのに脇腹を蹴られた。
- ・ 肩が1年ほど痛かった。
- ・ 何もしなかったのに革手錠をされた。
- ・ 遊び半分ですれてしまった。

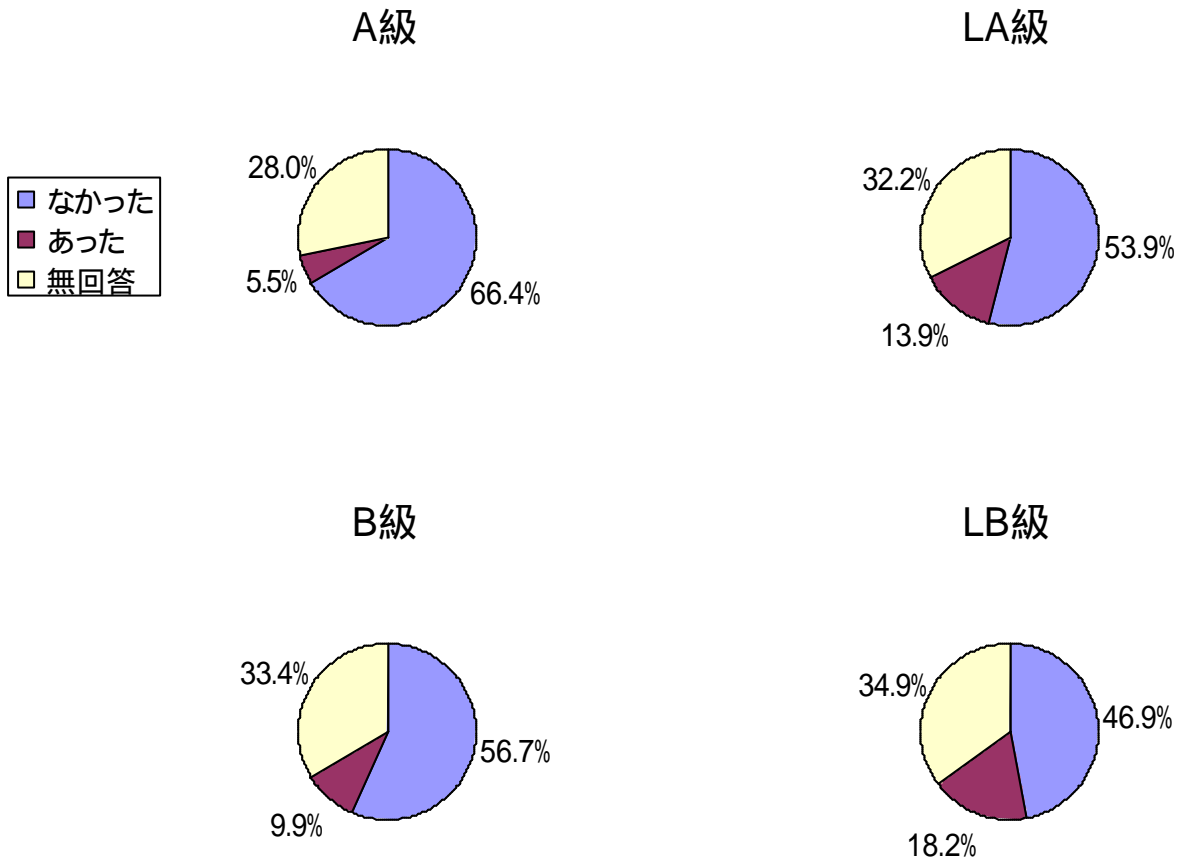
問 2 7 - A 不服申立てをしたことの有無

なかった	8 1 . 4 %
あった	1 0 . 9 %



問 2 7 - B 不服申立てに関して、不当な取扱いを受けたことの有無

なかった 57.5%
あった 11.1%



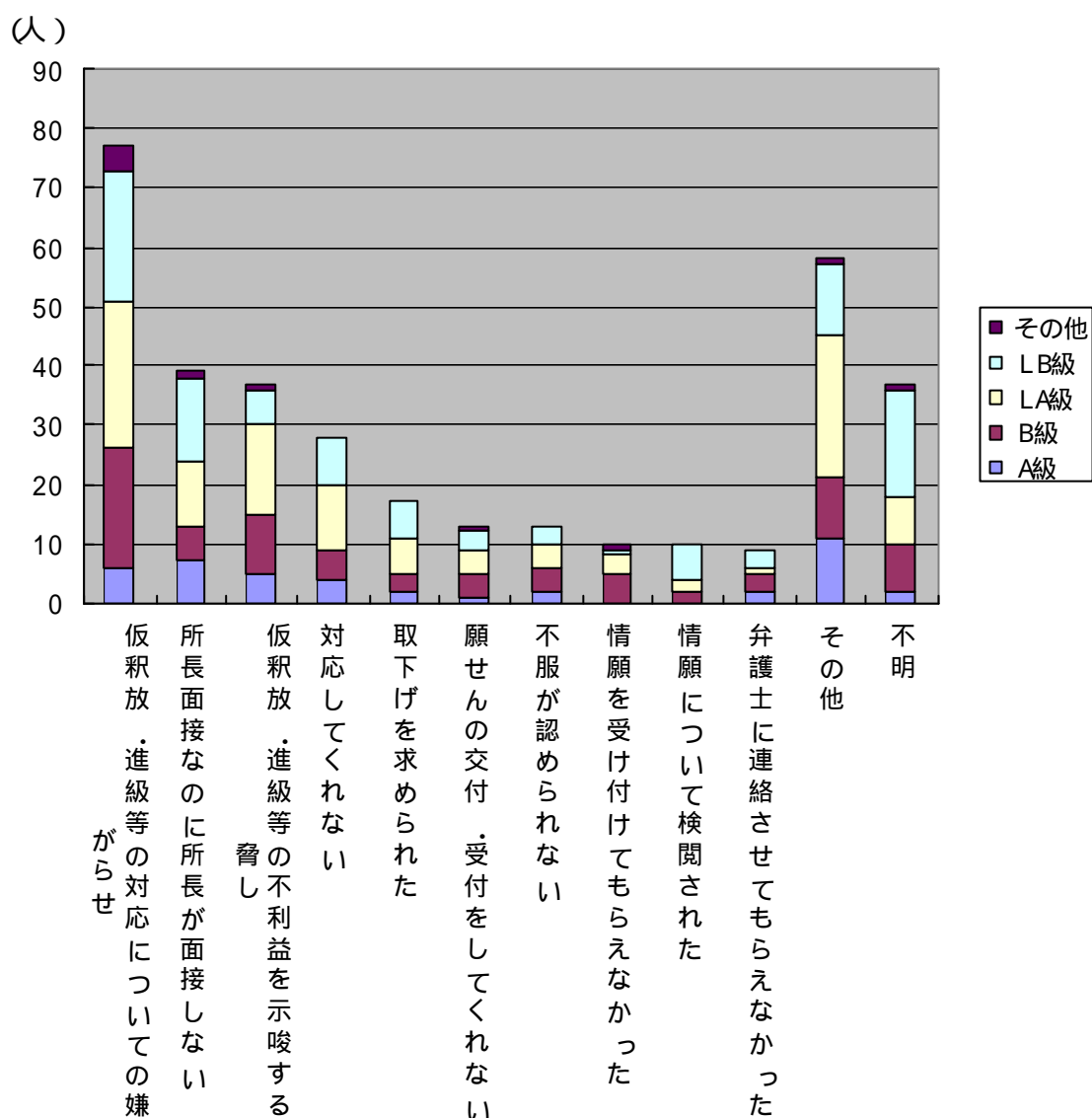
問 2 7 - C 不当な取扱いの内容 (自由回答・回答数 3 0 9)

仮釈放,進級等の対応についての嫌がらせ 77人(24.9%)

所長面接なのに所長が面接しない 39人(12.6%)

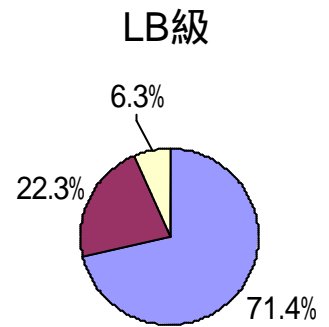
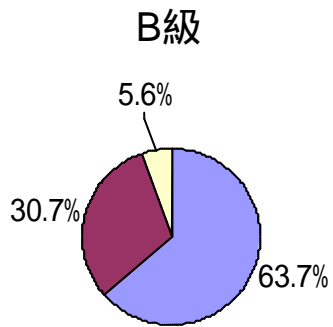
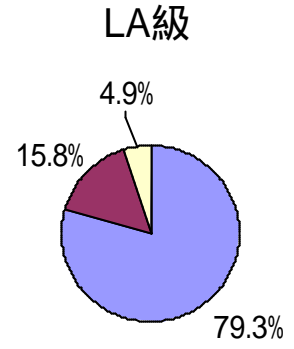
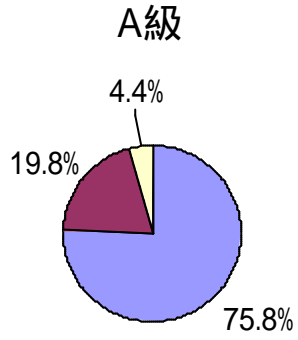
仮釈放,進級等の不利益を示唆する脅し 37人(12.0%)

(回答した者309人に占める割合)



問 2 8 刑務所生活で得られたものはあったか

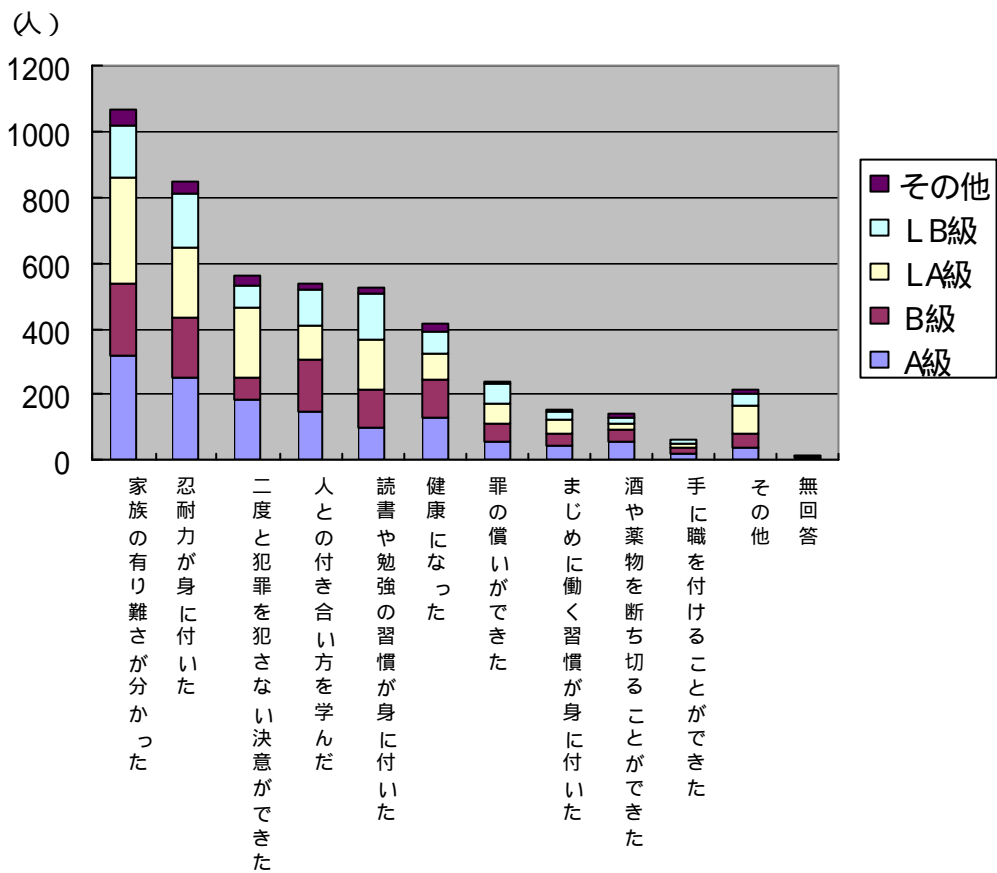
あった 72.9%
なかった 21.8%



問 2 8 - A 刑務所で得られたもの (3 つまで選択)

(本項における比率は、有効回答中に占める割合)

家族の有り難さが分かった	1 0 6 9 人 (4 1 . 7 %)
忍耐力が身に付いた	8 4 9 人 (3 3 . 1 %)
二度と犯罪を犯さない決意ができた	5 6 4 人 (2 2 . 0 %)
人との付き合い方を学んだ	5 3 9 人 (2 1 . 0 %)
読書や勉強の習慣が身に付いた	5 2 3 人 (2 0 . 4 %)

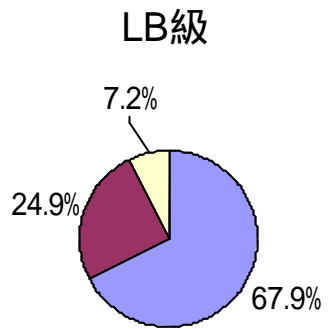
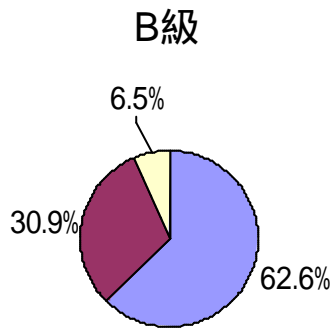
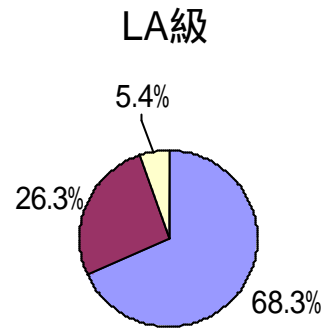
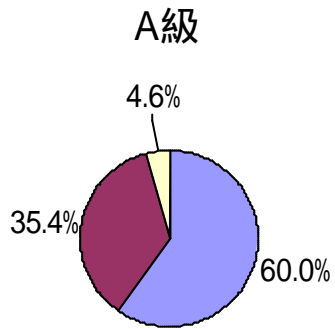
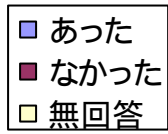


「その他」の主な内容

- ・ 考えることができた 5 2 人 (2 . 0 %)
- ・ 悪い知識を得た 1 3 人 (0 . 5 %)
- ・ 勉強ができた 1 0 人 (0 . 4 %)

問 2 9 刑務所生活で楽しい・うれしいと感じたことの有無

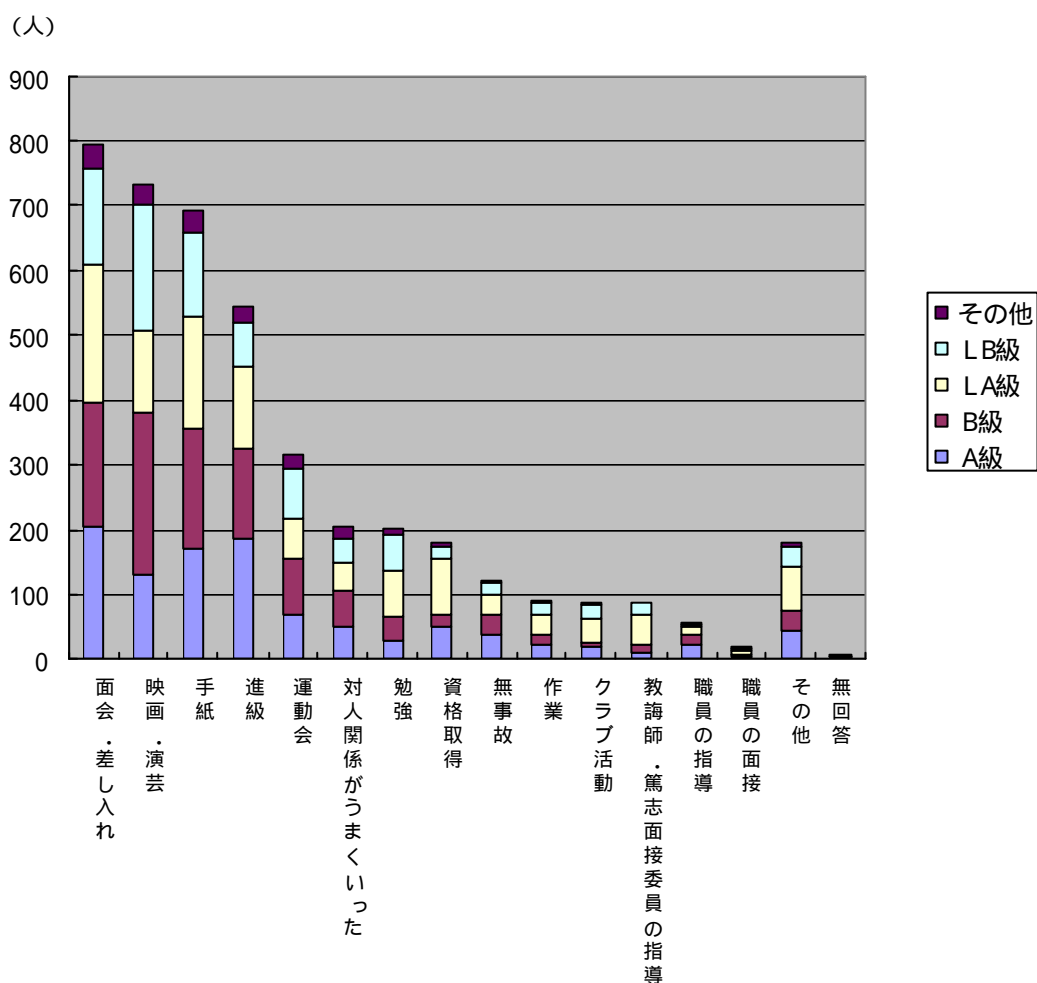
あった 64.7%
なかった 29.6%



問 2 9 - A 楽しい・うれしいと感じたこと (3 つまで選択)

(本項における比率は , 有効回答中に占める割合)

面会 , 差し入れ	7 9 4 人 (3 1 . 0 %)
映画 , 演芸	7 3 2 人 (2 8 . 6 %)
手紙	6 9 3 人 (2 7 . 0 %)

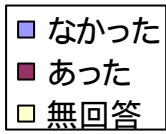


「その他」の主な内容

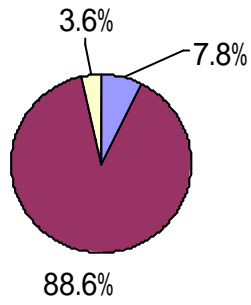
・ 甘味 , 食事	2 4 人 (0 . 9 %)
・ 知人 , 人間関係	2 0 人 (0 . 8 %)
・ 親族との関係	1 3 人 (0 . 5 %)
・ 勉強 , 教育 , 読書	1 2 人 (0 . 5 %)

問30 刑務所生活でつらい・苦しいと感じたことの有無

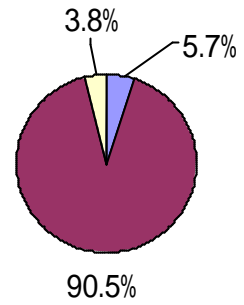
あった 89.3%
なかった 6.2%



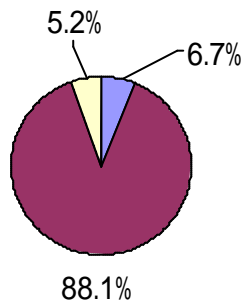
A級



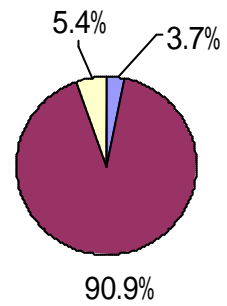
LA級



B級



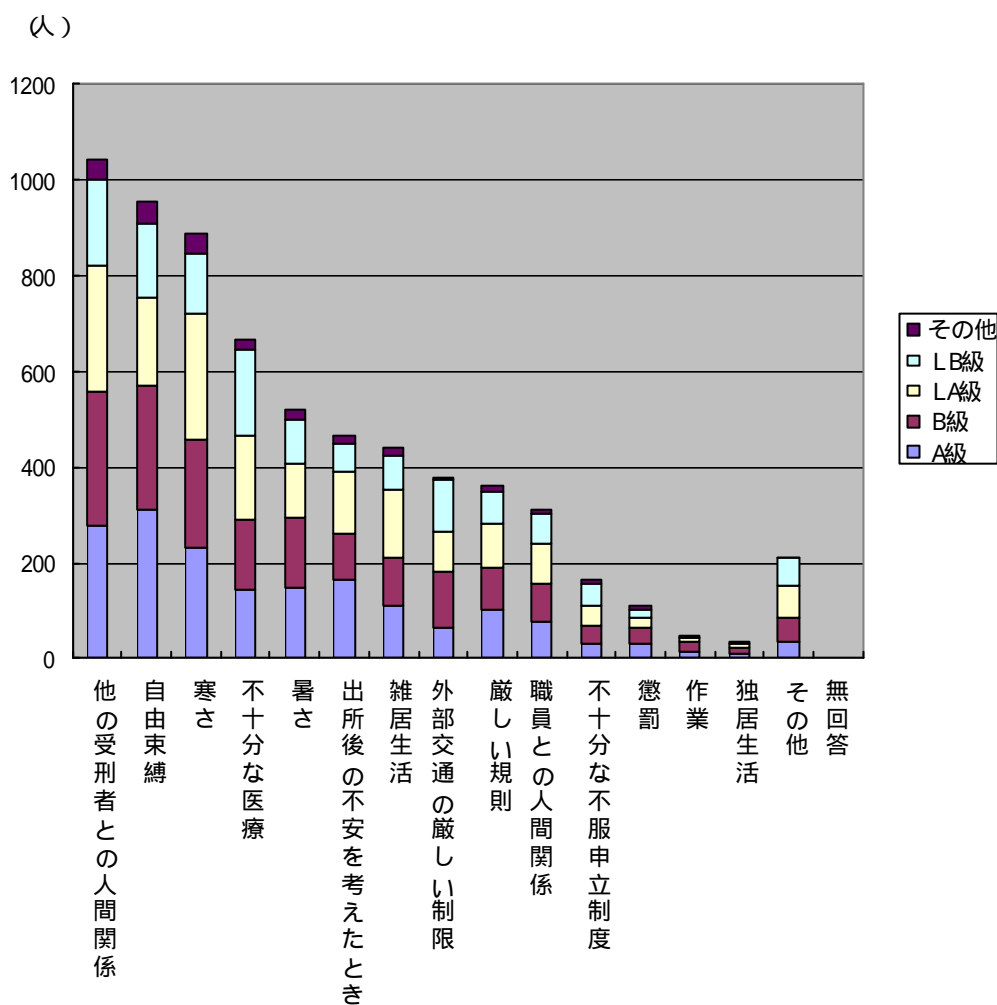
LB級



問30 - A つらい・苦しいと感じたこと(3つまで選択)

(本項における比率は、有効回答中に占める割合)

他の受刑者との人間関係	1041人(40.6%)
自由束縛	952人(37.2%)
寒さ	888人(34.7%)

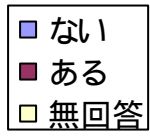


「その他」の主な内容

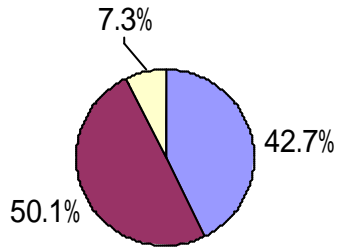
・ 職員の対応	30人(1.2%)
・ 医療, 健康	22人(0.9%)
・ 衣類	13人(0.5%)
・ 親族関係の不安	12人(0.5%)

問 3 1 出所後の生活に不安があるか

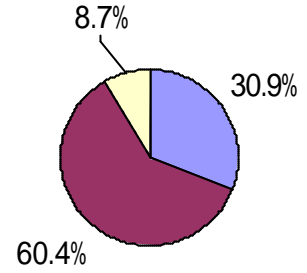
ある 52.5%
ない 37.6%



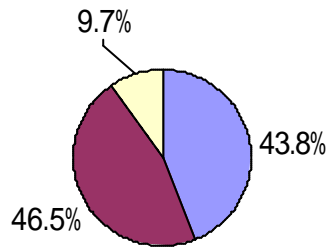
A級



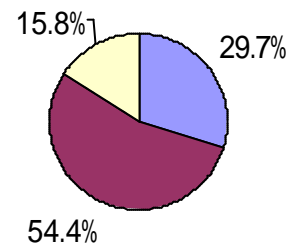
LA級



B級



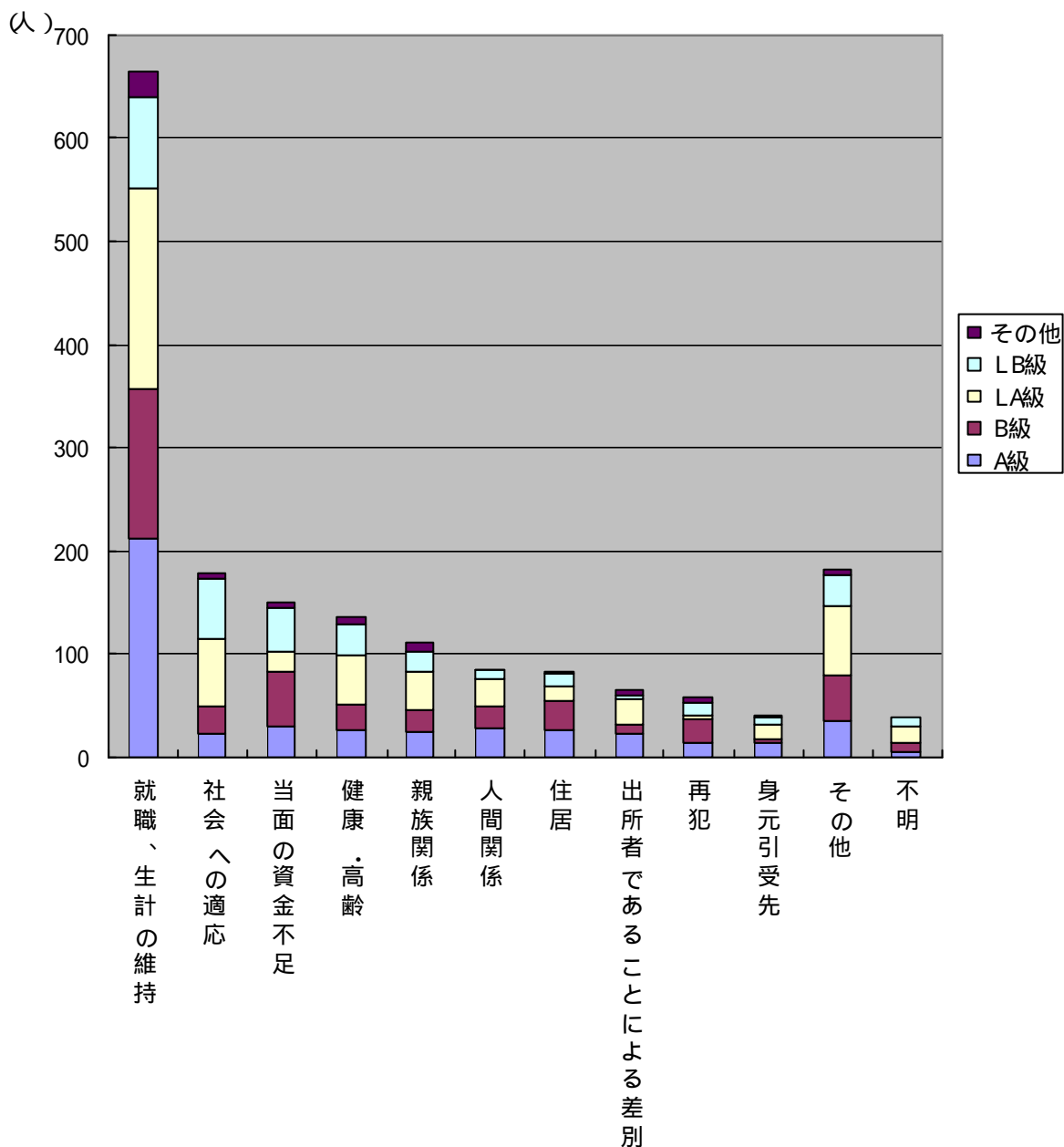
LB級



問3 1 - A 出所後の不安の内容（自由回答・回答数1277）

就職，生計の維持	665人（26.0%）
社会への適応	179人（7.0%）
当面の資金不足	150人（5.9%）

（有効回答中に占める割合）



問 3 2 その他刑務所生活の不満，感想（自由回答・回答数 1 3 8 7）

問 1 ～ 問 3 1 で問われていない事項に関する記載を含むもの

- ・ 累進処遇制度に関する不満・希望（多数）
- ・ 自弁できる物品の範囲，価格についての不満・希望（多数）
- ・ テレビ・ラジオの視聴に関する不満・希望（多数）
- ・ 仮釈放制度の運用等に関する不満・希望（多数）
- ・ 入浴時間の延長等，衛生面で改善してもらいたい。（比較的多数）
- ・ 喫煙・飲酒の希望（比較的多数）
- ・ 過剰収容状況に対する不満（比較的多数）
- ・ 作業賞与金を物品の購入費用に充てたい。
- ・ 運動の時間を現状より長くしてもらいたい。
- ・ 職業訓練・教育に配慮してもらいたい。
- ・ 監獄法を改正すべき。
- ・ 行刑改革に期待している。